

## 犬山市地域包括支援センター運営協議会設置規則

(趣旨)

第1条 この規則は、犬山市附属機関設置条例（平成28年条例第36号）第8条の規定に基づき、犬山市地域包括支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 医師会、歯科医師会及び薬剤師会の代表者
- (2) 保健所の代表者
- (3) 介護保険被保険者
- (4) 介護保険サービス事業者等
- (5) その他市長が必要と認める者

(会長及び副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(招集及び議事)

第4条 協議会は、会長が招集する。ただし、会長及び副会長が在任しないときの協議会は、市長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決することによる。

5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、

意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、健康福祉部高齢者支援課において行う。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

2 第3条第2項の規定にかかわらず、廃止前の犬山市地域包括支援センター運営協議会設置要綱（平成18年4月1日施行）に基づく犬山市地域包括支援センター運営協議会の会長及び副会長であった者は、この規則の施行の日に協議会の会長及び副会長として定められたものとみなす。

犬山市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

(任期：令和3年6月2日～令和6年6月1日)

項目	氏名	所 属
1号委員	桑原 生秀	尾北医師会犬山支部
	杉浦 隆	犬山扶桑歯科医師会
	高木 亮一	尾北薬剤師会犬山支部
2号委員	鈴木 康元	愛知県江南保健所
3号委員	紀藤 秀夫	犬山市民生委員児童委員協議会
	宮島 まち子	介護認定審査会委員（保健師）
4号委員	安藤 清美	犬山市介護サービス事業者協議会ケアマネ部会
	柳 好	犬山市社会福祉協議会
5号委員	長岩 嘉文	日本福祉大学中央福祉専門学校
	河村 政徳	一般社団法人和顔の輪

分 類      1号委員 医師会、歯科医師会及び薬剤師会の代表者  
             2号委員 保健所の代表者  
             3号委員 介護保険被保険者  
             4号委員 介護保険サービス事業者等  
             5号委員 その他市長が必要と認める者

事務局      健康福祉部高齢者支援課

令和4年度 第1回犬山市地域包括支援センター運営協議会次第

日時：令和4年10月17日（月）午後1時30分～

場所：犬山市役所 5階 501・502会議室

1. あいさつ

2. 報告事項・協議事項

(1) 令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業収支報告について

【資料No. 1】

(2) 令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業実績報告及び自己評価について

【資料No. 2・資料No. 3-1-3-5】

(3) 令和4年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業自己評価（案）について

【資料No. 4】

3. その他

令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業収支報告

単位(円)

			合計	犬山北地区	犬山南地区	城東地区	羽黒・池野地区	楽田地区	
収入	市からの委託料	委託料	113,671,144	22,449,520	22,908,000	22,738,588	23,202,800	22,372,236	
	介護保険収入	介護予防支援事業費+介護予防ケアマネジメント費	35,907,070	6,148,345	11,683,857	7,218,896	6,298,262	4,557,710	
	収入合計		149,578,214	28,597,865	34,591,857	29,957,484	29,501,062	26,929,946	
支出	介護保険支出		25,941,998	3,998,156	10,824,225	4,999,031	4,326,706	1,793,880	
	人件費	人件費	83,485,437	19,398,354	17,659,239	12,435,815	17,618,729	16,373,300	
	事業費	一般介護予防事業		2,667,054	353,572	216,428	517,085	945,683	634,286
		包括的支援事業・任意事業		15,441,201	3,856,846	2,215,364	4,515,462	3,796,385	1,057,144
		在宅医療介護連携推進事業		549,548	15,300	212,450	91,285	209,368	21,145
		生活支援体制整備事業		1,009,191	120,200	215,564	250,223	211,775	211,429
		認知症地域支援・ケア向上事業		923,875	97,500	250,411	162,147	265,817	148,000
		地域ケア会議推進事業		520,428	13,200	212,381	56,027	196,535	42,285
		予備費		-	-	-	-	-	-
支出合計		130,538,732	27,853,128	31,806,062	23,027,075	27,570,998	20,281,469		
差額			19,039,482	744,737	2,785,795	6,930,409	1,930,064	6,648,477	

【再掲】 差額分の内、欠員分人件費返還分 13,616,993 695,646 2,434,761 5,160,486 1,605,400 3,720,700  
 ※地域づくり担当(2か月分) ※地域づくり担当(7か月分) ※保健師(12か月分) ※社会福祉士(5か月分) ※保健師(10か月分)  
 ※地域づくり担当(2か月分)

資料No.1

項目	犬山北地区				犬山南地区				城東地区				羽黒・池野地区				楽田地区			
	職種	人員		職種	人員		職種	人員		職種	人員		職種	人員		職種	人員			
		R3 計画	R4.3末実績		R3 計画	R4.3末実績		R3 計画	R4.3末実績		R3 計画	R4.3末実績		R3 計画	R4.3末実績		R3 計画	R4.3末実績		
運営体制																				
総合相談	電話・訪問・窓口において、高齢者の相談に対応し、必要な機関や制度・サービス等へつなぐとともに継続的な支援を実施する。また、地域の介護支援専門員が担当している場合も含め、地域住民その他関係機関との連携体制を構築し、高齢者等の状況把握を実施する。	相談件数	新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数			
			160件	2239件	47件	816件	53件	163件	60件	1250件	0件	10件	316件	3066件	51件	1431件	12件	95件	217件	1358件
高齢者世帯訪問調査	65歳以上の高齢者に対して訪問調査を実施し、適宜必要な制度・サービス・機関等を紹介するとともに定期的なフォローを実施する。	対象訪問件数	新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数			
			27件	81件	200件	220件	194件	218件	9件	73件	9件	376件	7件	282件						
高齢者虐待に対する支援	高齢者虐待の相談や通報に対し、関係機関と連携して解決のための支援を行うとともに、虐待終結後の地域でのフォロー体制を含めたネットワークの構築を実施する。また、高齢者虐待の予防を目的として普及啓発を実施する。	対応件数 その他の活動	新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数		新規件数		延件数			
			4件	10件	4件	31件	3件	16件	1件	15件	4件	65件								
日常生活自立支援事業及び成年後見制度の活用	高齢者の判断能力等の状況を把握し、日常生活自立支援事業や成年後見制度等の利用に向けて支援を実施する。併せて、制度等の普及啓発を実施する。	件数	5件		17件		9件		7件		2件									
消費者被害の防止及び対応	地域における消費者被害に関する情報を把握し、地域住民や関係者への啓発を実施するとともに地域の高齢者や家族等から相談や情報がもたらされるような働きかけを実施する。	件数	22件		2件		1件		3件		2件									
認知症総合支援事業	認知症への正しい理解と認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのために認知症サポーター養成講座や広報誌等の発行により普及啓発を実施するとともに、認知症ケアパスの加除修正にかかる情報収集及び関係機関との連携体制構築に資する活動を実施する。	認知症サポーター養成講座	1回	2回	2回	4回	1回	1回	2回	1回	2回	1回	1回							
		実施回数参加者数	20人	23人	10人	50人	15人	54人	20人	19人	20人	5人								
		認知症初期集中支援チーム	随時	12回	随時	8回	随時	11回	随時	6回	随時	12回								
		認知症の相談	54件	新規件数 10件	延件数 37件	40件	新規件数 3件	延件数 12件	随時件	新規件数 11件	延件数 53件	132件	新規件数 18件	延件数 57件	120件	新規件数 4件	延件数 25件			
チームオレンジの設置準備	認知症サポーター養成講座及び参加した方へのステップアップ講座開催	認知症サポーター養成講座実施（現在サロン自主化している人） ・10月からチームオレンジ開催中	認知症サポーター養成教室出席者に対し6か月後にステップアップ講座を開催 ・チームオレンジ開設活動を行う	北地区と合同で西コミュニティにてチームオレンジ設置活動	チームオレンジ設置のために認知症の人や家族などから必要な情報を収集する。	チームオレンジ及び認知症カフェについて民生委員と情報収集及び情報共有を行う（3回）	認知症サポーター養成講座に加え、フォローアップ講座の開催	認知症サポーター養成講座に参加した方への声掛け、協力の有無を確認する	過去に認知症サポーター養成講座を受講した方へステップアップ講座の周知											
その他の活動	認知症についてのチラシ配布：1回 認知症ケアパスの周知：1回 Oneカフェ（認知症カフェ）の開催	チームオレンジの開催で認知症初期集中と講座：随時 認知症予防チラシ配布：5回 70部 認知症カフェの開催：1回	認知症カフェの立ち上げを地域支援推進員と連携して実施 ・Oneカフェ（認知症カフェ）の開催	認知症カフェ開催に向けて、地域への働きかけ ・理解への周知活動	認知症カフェの開催：1回	認知症カフェは出来なかったが、開催に向けて介護者への聞き取りなどを行った。	認知症ケアパスの周知 認知症カフェの開催	はぐいけカフェ：3回 ナカ・カマ・クリの7軒と認知症高齢者に対するネットワーク形成 普及啓発：3回 対応方法の協議（2名/個々に）	認知症ケアパスの周知 認知症カフェの開催 ・少人数の住民と認知症座談会：3回（見守りシール交付事業、認知症個人賠償責任保険事業等の周知）											

	項目			犬山北地区		犬山南地区		城東地区		羽黒・池野地区		楽田地区											
		R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績										
包括的・継続的ケアマネジメント業務	介護保険事業	介護予防サービスを利用する高齢者等に対し、サービス利用に係る計画の作成や連絡調整などを円滑に行う。利用者の意向に基づき、居宅介護支援事業所への委託も可能だが、手続きや書類不備等の確認及び計画に関する助言指導を実施する。	自センター	新規	37 件	52 件	30 件	60 件	37 件	60 件	21 件	55 件	17 件	28 件									
				継続	1,237 件	1286 件	1,450 件	1225 件	1,656 件	1497 件	739 件	1178 件	1,007 件	846 件									
			委託	新規	26 件	32 件	20 件	20 件	6 件	14 件	40 件	34 件	21 件	18 件									
				継続	600 件	710 件	800 件	1204 件	280 件	570 件	1,561 件	1426 件	920 件	933 件									
	介護支援専門員への個別支援	地域の介護支援専門員と積極的に関わりを持ち、関係性を構築するとともに、支援困難事例を抱える介護支援専門員に対する指導・助言・調整・支援及び事例検討会等の開催により地域の介護支援専門員の質の向上を図る取組みを実施する。	具体的活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例での地域ケア会議開催</li> <li>・介護支援専門員の事例検討会開催：1回（自地区）</li> <li>・介護支援専門員向け研修開催：1回（自地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難ケースに対して随時経過情報共有し訪問に同席、ケア会議</li> <li>・事例検討会開催：1回（自治会）</li> <li>・介護支援専門員向け研修開催：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例に対する助言及び支援</li> <li>・地域ケア会議の開催</li> <li>・介護保険制度改正や高齢サービス活用について積極的な情報共有：随時</li> <li>・地区内の社会資源情報の提供：随時</li> <li>・困難事例について、積極的な同行支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難ケースに対し相談支援、同行訪問</li> <li>・困難ケースに対し地域ケア会議開催：3回</li> <li>・事例検討会：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケママネからの依頼による地域ケア会議の開催：適宜</li> <li>・困難な事例を抱える介護支援専門員に助言や提案をするとともに、介護支援専門員と協働して支援にあたる。：適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員向け研修開催：1回</li> <li>・困難ケース（虐待・サービス利用拒否・生活困窮等）に対して、助言・同行支援を行う。</li> <li>・地域ケア会議を開催し、個別課題の問題解決の助言、指導を行う。</li> <li>・地域の社会資源情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難ケースに対する同行訪問：7件</li> <li>・困難ケースに対する助言・指導：45件</li> <li>・困難ケースの地域ケア会議開催：4件</li> <li>・困難ケースの個別ケア会議開催：5件</li> <li>・地域の社会資源情報提供：都度</li> <li>・障害者基幹相談センターについての勉強会：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先の居宅介護支援事業所に対して地域ケア会議を開催すべきケースの有無を毎月1回</li> <li>・居宅介護支援事業所が抱える困難事例に対して継続的な支援。</li> <li>・委託している新規、更新、サービス追加したケアプランの確認：適宜</li> <li>・障害から介護保険への移行、障害福祉サービスの併用について</li> <li>・介護支援専門員に対する苦情対応</li> </ul>											
	介護予防対象者把握事業	地域の実情に応じて収集した情報等の活用により閉じこもり等何らかの支援を要する者を把握し介護予防活動へつなげる。	基本チェックリスト実施者数		50 人	81 人	100 人	181 人	30 人	45 人	100 人	134 人	50 人	75 人									
	介護予防普及啓発事業	健康づくりに関する情報提供だけでなく、介護予防等知識の普及及び啓発事業を実施する。	実施内容、回数等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談・介護予防教室</li> <li>・サロン等での講演</li> <li>・自主活動、お茶会健康相談参加</li> <li>・老人クラブや女性会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨシヅヤでの健康相談：3回</li> <li>・介護予防教室：9回</li> <li>・サロン等での公演：2回</li> <li>・インフルエンザ予防講話：1回 70名</li> <li>犬山市介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体操教室・サロン（9か所）での介護予防及び健康相談、健康講話の実施：18回</li> <li>・広報作成行い、年4回地域の回覧板にて知識の啓発を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操教室・地域サロンにて介護予防及び啓発活動実施</li> <li>・あんしんだより作成、回覧板、地域サロンにて配布</li> <li>・ちらし・パンフレット配布：27回</li> <li>・サロン・体操教室にて講座・健康指導：20回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談：3回</li> <li>・高齢者の体力チェックと介護予防普及啓発活動：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談 8回</li> <li>介護予防啓発活動 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操教室：10回</li> <li>・口腔嚥下講座：2回</li> <li>・栄養講座：5回</li> <li>・健康介護相談会：10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操教室：8回</li> <li>・口腔嚥下：1回</li> <li>・栄養講座：2回</li> <li>・健康介護相談：3回</li> <li>・チラシ回覧：508部</li> <li>5337世帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の商業施設、集いの場で介護相談会：3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施したチェックリストを集計、分析傾向のまとめ</li> <li>尾北医師会 住民啓発ワーキンググループ 出前講座1回</li> </ul>									
介護予防等関連事業	運動器機能向上	運動器機能向上の必要性が認められる高齢者を対象とし、家庭でもできる筋力向上のトレーニングを集団で実施できるよう、教室の開催及び運営を行う。	区分	連続	単発	連続	単発	連続	単発	連続	単発	連続	単発	連続	単発	連続	単発	連続	単発				
			開催回数	10 回	— 回	9 回	0 回	6 回	— 回	— 回	1 回	— 回	3 回	0 回	2 回	6 回	— 回	6 回	1 回	6 回	— 回	0 回	2 回
			参加延べ人数	150 人	— 人	124 人	0 人	120 人	— 人	— 人	9 人	— 人	30 人	0 人	14 人	120 人	— 人	84 人	11 人	120 人	— 人	0 人	26 人
			その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規での運動教室の立ち上げ・既存のサロン訪問と体力測定の定期開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防教室：西ふれあいセンター（3回）、げんこつ先生（6回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響が予想されるため自宅でできる体操メニューのパンフレットの積極的な活用を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存体操教室にて体力測定：3回</li> <li>フレイル予防の啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に作成した体操メニューのパンフレット配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進課と合同で体力チェック実施 2回</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力測定：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に対し、R2年に作成したセンター独自のDVDの貸し出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩サークル、体操教室の代表者に各2回体力測定や骨密度検査の打診</li> </ul>										
栄養改善・口腔機能向上	栄養改善や口腔機能向上の必要性が認められる高齢者を対象に、管理栄養士や歯科衛生士等と連携し、食生活の改善や口腔衛生及び口腔機能向上のための指導を実施するための教室の開催及び運営を行う。	対応件数	5 件		新規件数	延件数	9 件		新規件数	延件数	1 件		新規件数	延件数	10 件		新規件数	延件数	1 件		新規件数	延件数	
					2 件	2 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	3 件	0 件	0 件							
	具体的活動内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能向上講座開催・管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士によるヤクルト健康教室</li> <li>・オーラルフレイル：12名、1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士、歯科衛生士による講演会又は口腔機能向上講座開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理栄養士による健康講話：2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養改善と口腔機能向上教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいサロンにて口腔内体操の実施及び口腔内体操の冊子を配布 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能向上講座</li> <li>・栄養改善講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢に伴う口腔機能と誤嚥性肺炎について（口腔体操も実施）</li> <li>・腸活について（ヤクルト）</li> <li>・筋肉量と食事（タンパク質）について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士による口腔機能向上教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科衛生士による口腔機能向上教室</li> </ul>											
	実施内容、回数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主化体操教室活動支援：4ヶ所</li> <li>・体操教室立ち上げ支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ふれあいセンターにて自主化に向け体操教室開催：6回</li> <li>・既存の体操教室：5箇所（15回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体操室活動支援：9か所</li> <li>・新規集いの場の立ち上げ支援（上野地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容相談：3回</li> <li>・集いの場の立ち上げ支援：随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主活動グループからコロナ禍における活動内容の相談及び対応 10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存サロンへの活動支援：120回</li> <li>・体操教室立ち上げ支援：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存サロンへの活動支援：61回</li> <li>・サロン立ち上げ支援：2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の高齢者団体やサロンに年4回活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の団体等に19回訪問し情報交換や活動状況、イベント等を提案</li> </ul>													
	具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うつ予防</li> <li>・保健所等相談窓口の紹介</li> <li>・保健師の訪問による相談</li> <li>・専門病院の連携、紹介</li> <li>・リーフレットにて紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ・チラシ配布139枚</li> <li>・保健師のうつ訪問相談・保険健康推進課との連携</li> <li>・うつに対する健康講話：2回</li> <li>・認知症予防、脂質異常の講話3回、30名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うつ予防</li> <li>・世帯訪問、基本チェックリストにて閉じこもり高齢者の把握</li> <li>・サロン利用につなげる</li> <li>・保健師・専門機関の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯訪問等によって、うつ予防、閉じこもり予防、認知症予防等の必要性がある住民に対し、基本チェックリストを実施し、該当者に個別相談や受診勧奨を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別相談にて閉じこもり傾向の方への相談支援実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うつ予防</li> <li>・保健師による相談援助</li> <li>・保健師の相談窓口を紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うつ予防</li> <li>・支援：1件</li> <li>・相談窓口との調整：1件</li> <li>・受診推奨後、ケアマネと調整：1件</li> <li>○アルコール疑い</li> <li>・同行及び退院支援、在宅の調整：1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うつ予防</li> <li>・継続支援者の経過観察</li> <li>・保健師の相談窓口紹介</li> <li>・保健師等の訪問による相談</li> <li>・高齢者あんしん相談センター保健師会が作成したチラシの配布</li> </ul>														



	項目		犬山北地区		犬山南地区		城東地区		羽黒・池野地区		楽田地区			
			R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績	R3 計画	R4.3末 実績		
地域ケア会議の開催・関係機関とのネットワーク	関係機関との連携体制構築	医療機関や介護施設、介護サービス事業所等関係機関との連携体制を構築するため、定期的な情報交換の場を設ける等、顔の見える関係づくりを進めるとともに、ネットワーク構築を実施する。	具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市介護サービス事業者協議会参加:2回</li> <li>・地域密着型通所介護の運営推進会議参加:3か所(計6回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市介護サービス事業者協議会参加:1回</li> <li>・地域密着型通所介護の運営推進会議書面参加:6回</li> <li>・尾北地区地域包括連絡会:2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾北地区地域包括連絡会:2回</li> <li>・在宅医療介護連携推進会議:2回</li> <li>・グループホーム・小規模多機能型居宅介護支援事業所・認知症対応型通所介護、運営推進会議(書面会議):20回</li> <li>・犬山市介護サービス事業所連絡会:1回</li> <li>・愛知県入退院支援調整事業キックオフ会議:6回</li> <li>・犬山市あんしんネットワークの会:1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾北地区地域包括支援センター連絡会参加:2回</li> <li>・びーよんネット(在宅医療介護連携システム)の活用</li> <li>・各地区高齢者あんしん相談センター、居宅介護支援事業所、サービス事業所、医療機関、保健所などと連携を行う、連携を図る。:随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾北医師会地域包括支援センター連絡会参加:2回</li> <li>・びーよんネットを活用し利用者情報の共有及び状態把握:2件</li> <li>・その他医療機関や各地区担当居宅支援事業所等と連携:12回</li> <li>・グループホーム、小規模多機能型居宅介護支援事業所等と連携:9回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾北地区地域包括支援センター連絡会参加:2回</li> <li>・犬山市介護サービス事業者協議会参加:1回</li> <li>・びーよんネット(在宅医療介護連携システム)の活用</li> <li>・犬山あんしんネットワークの会参加:開催時</li> <li>・防災避難者支援者検討会議:2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾北地区地域包括支援センター連絡会参加:3回</li> <li>・犬山市介護サービス事業者協議会参加:1回</li> <li>・びーよんネット(在宅医療介護連携システム)の活用</li> <li>・犬山あんしんネットワークの会参加:1回</li> <li>・犬山あんしんネットワークの会参加:1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム運営推進会議参加:6回</li> <li>・犬山市介護サービス事業者協議会参加:1回</li> <li>・地区内の介護支援専門員に対しての勉強会:1回</li> <li>・広報誌の発行:6回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム運営推進会議(書面開催)5地区合同で勉強会の開催について市内の15居宅介護支援事業所へ心理士に対しての質問を取りまとめる</li> <li>基幹相談支援センターへ相談し精神の訪問看護導入</li> <li>あんしんネットワークの会へ参加</li> <li>広報紙の発行(6回)</li> </ul>		
	地域住民・民間事業所とのネットワーク構築	高齢者見守りネットワーク事業を基盤とし、民生委員児童員や自治会を含む地域住民や民間事業所との連携体制構築のための取組みを実施する。	具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童員定例会へ参加し、情報交換、関係づくり:12回</li> <li>・スーパー、コンビニ、銀行、個人商店等見守りなど包括との連携を周知活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童員定例会参加:毎月</li> <li>・見守り支援ネットワーク会議への参加</li> <li>・犬山南小学校おやじの会、橋中わの会等の会議出席、情報共有</li> <li>・老人クラブやサロン参加者との意見交換の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童員定例会参加:9回</li> <li>・民生委員児童員、高齢者部会にてあんしん相談センターの周知活動実施(5包括合同)</li> <li>・西コミュニティ定例会:2回</li> <li>・買い物支援(移動販売)地域商店参入支援:6回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員の定例会に参加:2回</li> <li>・老人クラブや高齢者団体等に訪問し、地域情報を収集する。:適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員定例会参加:3回</li> <li>・高齢者団体等との意見交換:2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所運営推進会議参加:4回</li> <li>・民生委員児童員高齢者福祉部会研修会への参画:1回</li> <li>・地域密着型事業所の運営推進会議参加:3回</li> <li>・見守り支援ネットワーク会議参加:開催時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型事業所の運営推進会議参加:9回</li> <li>・民生委員児童員高齢者福祉部会研修会参加:1回</li> <li>・羽黒コミュニティとの合同チラシ企画</li> <li>・池野地区民生委員、児童委員協議会企画の講演会に参加</li> <li>・地域サロン、老人会に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童員定例会参加:12回</li> <li>・町内会等から依頼の出演講座開催:適宜</li> <li>・見守り支援ネットワーク会議参加:開催時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長、町会長元老人クラブ会長、体操教室講師、草刈りボランティア、コンビニ店長、地区住民と面談</li> <li>民生委員児童員定例会に参加</li> </ul>		
	生活支援体制整備事業	従来の介護サービス事業所の専門性を活かしつつ、ボランティアや民間企業、住民等と連携し、重層的な生活支援サービスの発掘、開発するとともに、担い手の育成をすることで重層的な生活支援体制の構築を目的とし、生活支援コーディネーターを配置し、資源マップ等の作成により住民ニーズの把握とサービス資源の創出及び活用に関する活動を実施する。	具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源調査、発掘</li> <li>・資源マップ更新作成:1回</li> <li>・地域での支え合いが必要であること、住民周知の講座:年2回</li> <li>・サロン開催及び担い手への支援</li> <li>・協議体運営の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源調査、発掘で地域のサロンへ出向いた</li> <li>・資源マップ更新の作成</li> <li>・協議体の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源マップ更新</li> <li>・住民間のネットワークの確認、地域の実態把握(高齢者世帯での情報活用)</li> <li>・協議体への参加啓発活動</li> <li>・散歩コースを活用した地域の見守り体制づくり</li> <li>・コープタウンの買い物支援の維持支援</li> <li>・地域ケア会議や個別会議から抽出された必要な資源の創出:適時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コープタウン買い物支援(移動販売)</li> <li>・買い物支援ネットワークと地域のパン屋の出店調整</li> <li>・専正寺サロン立ち上げ支援</li> <li>・上野地区体協教室立ち上げ・活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体に参加し、地域の資源と住民のニーズ把握を行う。:5回</li> <li>・地域の困りごとの把握を行う:適宜</li> <li>・社会資源の創出に関する取り組みを行う。:適宜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売の課題解決の取組み</li> <li>・城東地区社会資源マップ配布</li> <li>・高齢者支援課、健康推進課と健康課題、地域性など情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽黒池野地区社会資源マップの更新:1回</li> <li>・社会資源の創出</li> <li>・担い手づくりへの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンミーティングに参加:2回</li> <li>・市民活動ワークショップ参加:2回</li> <li>・移動支援勉強会に参加:2回</li> <li>・コロナ禍における老人会や地域サロンのあり方について協議</li> <li>・池野地区移動支援:2月～3月実証実験</li> <li>・多世代交流</li> <li>・防犯カメラの設置</li> <li>・地域の見守り強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある社会資源を探し、サロンやボランティア活動につなぐ。</li> <li>・協議体のチラシを関係機関等に配布し、お互いのつながりや支え合い活動の必要性を広める。</li> <li>・買物、移動支援事業の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許証返納による買い物難民、独居高齢者の熱中症、緊急通報機の必要性など地域の課題を住民に周知する方法など自治会に提議したが進まず、老人会に打診</li> <li>住民同士の繋がりが強化にラジオ体操とクリスマス会を検討、自治会と実行部隊と楽田コミュニティ会長が協力しながら青バトを利用し、買い物支援を実施</li> <li>自治会主催の住民参加型のイベント、子供拍子木隊とコラボして町内全体が顔なじみになるのが狙い</li> </ul>	
	地域ケア会議の開催	地域ケア個別会議及び地域ケア推進会議の開催を通じて、個別課題の解決及び地域課題の把握並びに課題解決の検討と、地域の介護支援専門員等に地域ケア会議に関する周知の取組みを実施する。	回数	3回	4回	6回	7回	3回	2回	4回	4回	5回	4回	
その他	家族介護支援事業	要介護高齢者の家族等介護者を対象とした介護知識や技術の習得、介護者の介護負担の軽減を図ることを目的とした交流会等を開催、運営する。	家族交流会	実施回数	1回	0回	1回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	
			参加者数	20人	0人	20人	1人	20人	0人	20人	0人	20人	0人	
			実施回数	1回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
			参加者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
			その他	市との合同家族会の開催	—	市との合同家族会の開催	コロナ禍のため中止	市との合同家族会の開催	—	市との合同家族会の開催	—	市との合同家族会の開催		



令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

		犬山北地区				
		医療法人啓友会				
		R3		R2		総合自己評価
項目		点数	率	点数	率	
1. 運営体制	48点中	38	79.2%	46	95.8%	・職種の人員不足は、SCが不足してるので他の職員で援助しながら行っている。 ・総合相談は、各職員で対応し全職員で相談しながらの対応を行っている。 ・権利養護は、包括以外との連携を取りながら情報共有してできている。 ・認知症高齢者への支援では、初期集中支援チームなどの紹介などを行い連携をとりながらの支援を行っている。 ・包括的継続的ケアマネジメント業務は、医療期間との連携をとり介護支援専門員の個別支援で相談業務を行っている。 ・介護予防等関連事業は、新規の体操教室6回コースで行ったがコロナなどで中止になったりと時間もかかった。が終了した。 ・地域ケア会議は、認知症とが虐待事例のケースで関係機関の方をまじえながら話し合いができた。
2. 総合相談支援業務	48点中	36	75.0%	43	89.6%	
3. 権利擁護業務	69点中	50	72.5%	64	92.8%	
4. 認知症高齢者への支援	48点中	45	93.8%	45	93.8%	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	36点中	36	100.0%	36	100.0%	
6. 医療機関との連携	30点中	24	80.0%	24	80.0%	
7. 介護予防等関連事業	54点中	49	90.7%	49	90.7%	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	43	89.6%	43	89.6%	
合計	381点中	321	84.3%	350	91.9%	

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上

# 令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		犬山北地区		
1. 運営体制		R3	R2	自己評価
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>				・3職種も欠員はなく行えたが、SCが産休となり欠員となっていた。 ・支援困難ケースもあり包括職員のメンバーで関係機関と連携しながら迅速な対応をおこなった。
1	3職種を常時定数配置している	0	3	
2	センター内で職務分担を設定し、かつ業務が行われている	3	3	
3	支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合、多様な観点から支援できるよう複数職員が関与している	2	3	
4	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している	2	3	
<b>②中立性・公平性の確保</b>				・各職員が中立・公平を理解し業務を行えた。 ・利用者に対して市町村事業であることを周知もしている。
6	職員が、センターは中立・公正でなければならないと理解している。	3	3	
7	利用者に対し、市町村事業であることを周知している	3	3	
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している	3	3	
9	職員の倫理要領(またはこれに付随するもの)を定め遵守している	3	3	
<b>③業務改善への取組</b>				・各自関わっている人の情報共有の場を設けているので業務が効率よくできている。
10	職員が、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している	2	3	
11	日々の業務における課題・反省点をセンター内職員全員で共有し、改善を図る仕組みを構築している	2	3	
<b>④職員の資質向上</b>				・職員がコロナ禍の中各自職種の研修があればオンラインにて参加している。外での研修もコロナが落ち着いて着たら随時参加していく。
12	職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	3	3	
13	職員がスキルアップのための研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が配慮している	2	2	
14	市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	2	2	
15	研修で得た知識・情報について、センター内で伝達する機会を設け、職員全員で共有するようにしている	3	3	
16	運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	2	3	
		16項目 48点中	38	46

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

2. 総合相談支援業務		犬山北地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センターの周知活動のチラシや消費者被害のチラシ・コロナ禍での自宅で行える運動のチラシ配布をした。サロン活動自主化の所なども多く定期的な訪問していた。</li> <li>・民生委員さんの定例会での参加で情報共有をしている。</li> <li>・世帯訪問などで安全な生活が遅れているかの確認なども行った。</li> </ul>
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している	2	3	
2	収集情報に基づく戸別訪問を実施している	2	3	
3	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している	2	2	
4	上記項目以外の、地域の実情に対応した実態把握のための工夫をしている	3	3	
<b>②所在不明高齢者の把握</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所や民生委員さんケアマネさんから情報収集を行っている。</li> </ul>
5	担当件域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	2	2	
<b>③相談受付での対応</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談業務を行い朝のミーティングで職員同士で情報共有を行う</li> <li>・高齢者の家族などの援助も行っている。</li> </ul>
6	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている	3	3	
7	多岐にわたる相談をワンストップで受け止めるよう努めている	2	3	
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている	2	3	
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている	2	3	
10	24時間・365日緊急相談体制を含む、緊急的な相談への受付体制ができている	3	3	
11	高齢者以外の相談にも対応している	2	3	
<b>④防災対応</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾川が近いので河川に近いエリアで避難などの啓発をおこなった。民生委員さんの話合いでも話題にしている。</li> </ul>
12	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	2	2	
13	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	2	2	
14	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている	2	2	
15	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している	2	3	
<b>⑤福祉・介護用具の相談</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具のパンフレットや冊子にて紹介や説明を行っている。</li> </ul>
16	高齢者及びその家族の福祉・介護用具利用についての相談に対応し、周知・紹介・説明を実施している	3	3	
16項目 48点中		36	43	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

3. 権利擁護業務		犬山北地区		自己評価
		R3	R2	
<b>①成年後見制度の活用促進</b>				・研修などに参加した資料を包括内で共有して他の職員にも説明し理解してもらう。市長申し立てや行政書士さんや弁護士さんなどの連携もとれた。
1	職員が、成年後見制度について理解している	2	3	
2	申立の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	3	
3	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	2	3	
4	成年後見制度の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	3	
5	成年後見制度の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	3	
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>				・必要な感じの方が見えると社協さんと一緒に訪問し説明をしてもらっている。がなかなか活用に至らない
6	職員が、日常生活自立支援事業について理解している	2	3	
7	事業利用の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	3	
8	地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	2	3	
9	日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	3	
10	日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	3	
<b>③高齢者虐待への対応</b>				・社会福祉士会にて事例検討や情報共有することで円滑な対応ができる環境が整備できている。対応フローチャートや帳票を活用している。
11	職員が、高齢者虐待についての定義を理解している	3	3	
12	職員が、高齢者虐待の対応では虐待者の支援も必要なことについて理解している	3	3	
13	自治体や他機関と連携し、事例に対応できる体制を整えている	2	3	
14	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている	2	3	
15	高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	3	0	
16	自治体から提供された対応フローチャート及び帳票を活用している	3	3	
17	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している	2	3	
18	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している	2	3	
19	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、迅速に対応している	2	3	
<b>④消費者被害の防止</b>				・市で頂く消費者被害の予防チラシでの啓発活動を行うことができた。
20	職員が、消費者被害の動向や相談先について理解している	2	3	
21	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている	2	3	
22	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している	2	3	
23	地域の高齢者が被った消費者被害の情報の分析を行って、予防に努めている	2	1	
23項目 69点中		50	64	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

4. 認知症高齢者への支援		犬山北地区		自己評価
		R3	R2	
	<b>①認知症高齢者への理解</b>			・認サポ及びステップアップ講座の開催で認知症への理解を深めることができた。
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している	2	3	
	<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			・認知症の高齢者の行きそうなコンビニや郵便局、銀行、ドラッグストアなど連携できる仕組みをとっている
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している	3	3	
3	認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	3	3	
4	介護者を支援するレスパイトケアについて、適切な機関を紹介することができる	2	3	
5	上記以外で、介護者に対する支援の取組みを実施している	3	3	
6	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している	3	3	・認知症カフェは、後半に行うことができた数人で行っている
7	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	2	2	
8	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	2	1	
9	認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	3	3	
	<b>③医療機関との連携について</b>			・初期集中支援チームとの連携も会議などでいつも参加し情報共有している。
10	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	3	
11	認知症疾患医療センターと連携をとっている	2	3	
12	地域関係者から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	2	3	
13	医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	2	3	
	<b>④認知症高齢者への権利擁護について</b>			・行政書士さんや民間の保証人会社の方と相談して利用者の家族に紹介して繋いでいる
14	成年後見制度等を利用して本人の利益を守るための支援を実施している	2	3	
15	認知症高齢者への虐待防止への取組みを実施している	2	3	
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している	3	3	
16項目 48点中		38	45	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		犬山北地区		自己評価
		R3	R2	
	<b>①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携</b>			・居宅支援事業所の方を毎回変えながら大人数にならないように事例検討会などを行い連携しやすい環境を構築している
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している	2	3	
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている	2	3	
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している	3	3	
	<b>②介護支援専門員に対する個別支援(相談)</b>			・担当地区の利用者さんを受け持っている事業所さんのプランをチェックして作成指導や地域ケア会議の普及啓発活動に努めている
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプランの作成指導や助言等を実施している	2	3	
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している	2	3	
6	担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	2	3	
7	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している	2	3	
8	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、指導及び問題解決のための協力を実施している	2	3	
9	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	2	3	
	<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>			・昨年は、羽黒地区と共同にて事例検討会を行ったが人数が多くならないように自事業所内で事例検討会をおこなった。
10	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的に行っている	2	3	
11	上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	3	3	
12	介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	2	3	
12項目 36点中		26	36	



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

6. 医療機関との連携		犬山北地区		自己評価
		R3	R2	
	①医師・看護師との連携について			・近隣の医療機関との連携がとれ往診の相談などもできている。
1	支援を必要としている方のことを相談できる医師がいる	2	3	
2	支援を必要としている方のことを相談できる看護師がいる	2	3	
3	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	2	0	
4	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する看護師が参加している	2	2	
	②医師会・医療機関との連携について			・近隣の医療機関のソーシャルワーカーとの連携をたえずとることができている。尾北医師会地域ケア協力センター協議会等の出席で連携ができている。
5	地域の医療機関と連携体制が構築されている	2	3	
6	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れている	2	3	
7	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている	2	3	
	③在宅医療との連携について			・退院支援など医療機関との連携や在宅医療の機関との連携をとっている。
8	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている	2	3	
9	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
10	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている	2	2	
		10項目 30点中	20	24

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

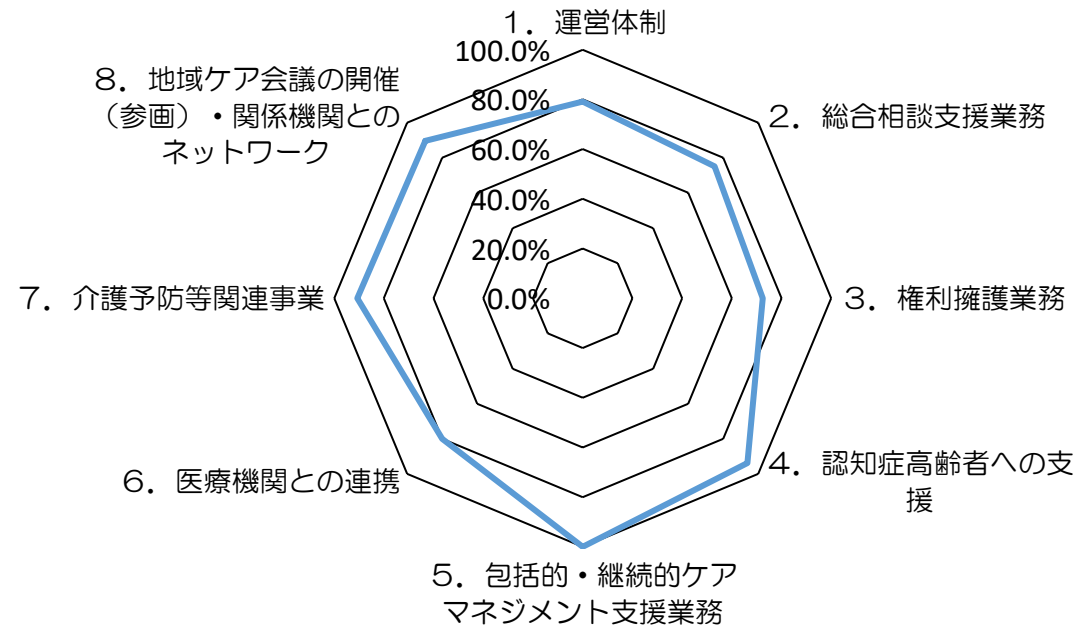
7. 介護予防等関連事業		犬山北地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勸奨</b>			・地域サロンや体操教室に出向き身体状況の把握をし定期的な体力測定の実施も行うことができた。
1	さまざまな機会を捉えて、介護予防事業対象者の把握を実施している	2	3	
2	介護予防事業対象者の生活状況や身体状況を把握している	2	3	
3	住民に対し、介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している	2	3	
4	介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	2	3	
5	実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	2	3	
	<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>			・保健師が中心に行い他の職員も同様実施できている。
6	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している	2	3	
	<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>			・主任ケアマネなどに相談し目的に沿ったプランかの確認なども行うことができた。
7	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している	2	3	
8	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している	2	3	
9	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的に行っている	2	3	
	<b>④地域の介護予防活動の支援</b>			・介護予防のちらし作成などで普及啓発を行うことができた。
10	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している	2	3	
11	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している	2	2	
	<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>			・介護予防にげんこつ先生の体操を取り入れ6回コース行ったが継続に至らなかったがさらさくらの健康づくりリーダーの体操などで自主化を行っている
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	2	1	
13	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	2	2	
	<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>			・全職員が介護予防の趣旨を理解し体操教室に参加してきた
14	介護予防の趣旨(6つの柱)をセンターの職員が理解している	2	2	
15	介護予防教室を実施している	3	3	
16	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	3	3	
	<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>			・チェックリストなどの項目などを把握し早期の医療機関への受診などを促すようにしている。
17	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	3	3	
18	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	3	3	
18項目 54点中		40	49	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		犬山北地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①地域ケア会議の開催(参画)</b>			・虐待の方や精神疾患のある家族の件などで対応していたかたの会議の開催を行う
1	地域ケア会議を開催している	3	3	
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している	2	3	
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	2	3	
4	必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	2	3	
	<b>②地域特性の把握</b>			・資源マップの作りにて特性の把握ができている
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している	2	3	
	<b>③担当圏域全体との関係づくり</b>			・定期的に地域サロンなどで住民と顔を合わせて関係性を築いている。
6	担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している	3	3	
7	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	3	3	
8	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	・24時間体制で連絡取れるようにしている
9	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	
	<b>④地域アセスメント</b>			・協議体や民生委員さんとの交流会などで地域課題を共有し地域の方と共に以降を考えて活動している
10	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している	2	3	
11	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している	2	3	
	<b>⑤地域における関係機関とのネットワーク</b>			・地域の社会資源の発掘など情報収集しながら把握しネットワークの構築に繋がりたいと思い動いている。
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している	2	2	
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している	2	3	
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	2	2	
	<b>⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について</b>			・民生委員さんや老人会の方達との関係づくりに積極的に働きかけるようにしている。
15	担当地域に既存のネットワークがある	2	0	
16	担当地域で構築中のネットワークがある	3	3	
16項目 48点中		38	43	

犬山北地区

R 3 年度



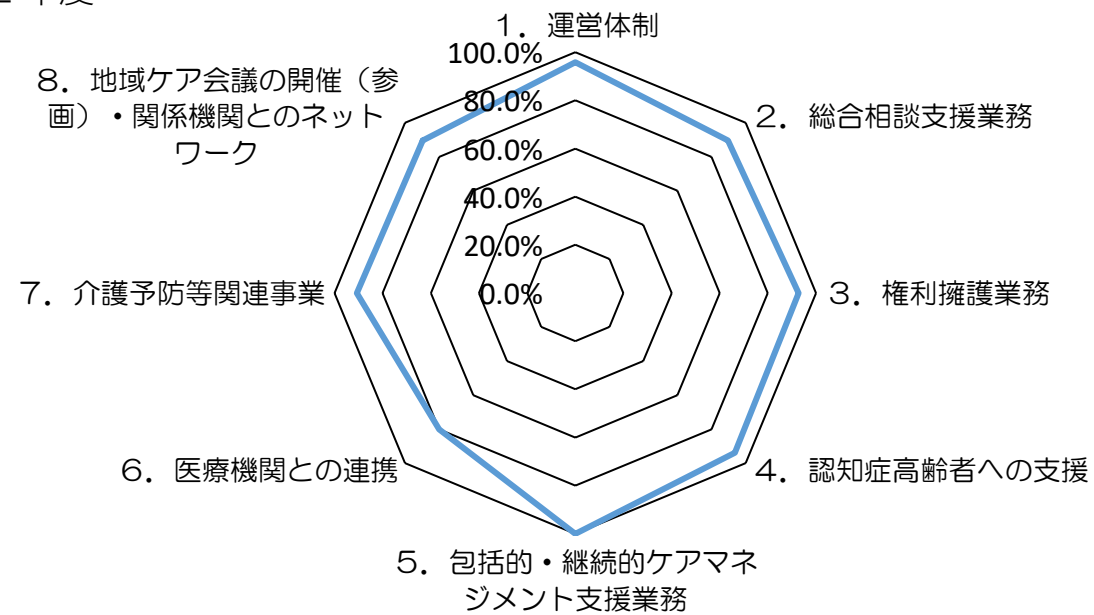
【市評価】

- ・事務所が商業施設内にあることから、他地区の住民の相談や高齢者以外の相談にも対応してもらっている。必要時には市役所関係課にもつないでおり、連携した支援につながっていると思われる。
- ・商業施設内のイベントホールを利用し、健康づくり部門等と連携した取組ができている。
- ・引き続き、関係機関とコラボした取組を実施してもらいたい。
- ・地域づくり担当以外の専門職は規定人数を配置できているとともに、事務員を配置することで、現場の対応が円滑にできていると評価する。
- ・地域資源が豊かな地域特性を活かし、事業への多様な主体の参画を期待する。

【運営協議会評価】

- ・ご苦労様です。良い活動ができていると考えます。
- ・概ね評価。
- ・1人暮らしや日中1人になる高齢者などに在宅医療機関(病院・薬局等)の紹介・連携を進める。
- ・事業所が商業施設内にある条件を生かした取り組みがされているので、今後も継続してください。
- ・認知症高齢者への支援では、地区内の店舗等との連携が取れており、さらに強力機関が増えることを期待します。
- ・欠員分をチームでおぎない対応されている。
- ・地域との協力して事業進行出来ていた。
- ・SC不在の中でも既存職員、関係機関との連携を行い、迅速な対応が行えている点は、日々の連携強化に努められていたことが評価できると思います。
- ・担当地区の特性等をしっかりと把握されてみえ、各事業や活動において、周知・啓発活動を活発に実施されていることが伺えました。
- ・商業施設内という立地の良さを活用して、地域住民に包括の活動が見えやすく、良い活動ができていると思います。

R 2 年度



自己評価「0:できていない」及び「1:ほとんどできていない」についての補足説明

犬山北地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
1. 運営体制			
④職員の資質向上			
運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	2	勉強会として地域の居宅支援事業所の方との事例検討会開催	ケアマネさんの一人で抱え込み案件になるとケアマネジメントに支障が出るので相談業務などと共に研修していきたい

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

		犬山南地区				総合自己評価
		社会福祉法人総合犬山中央病院				
		R3		R2		
項目		点数	率	点数	率	
1. 運営体制	48点中	37	77.1%	39	81.3%	昨年度同様、コロナウイルス感染症の感染拡大予防措置により活動が制限された。地域活動は感染対策を行いながら支援を行ったが、サロンや体操教室は公共施設を会場としている地域が大半を占めているため、会場が使用できない期間は中止された。チームオレンジ立ち上げのため、高齢支援課・犬山北地区と共同し活動を開始した。認知症高齢者の相談・不活動により機能低下が心配されるケースの相談が増え、事業対象者・要支援認定者のマネジメントが増加した。要支援者が要介護状態となり居宅介護支援へ移行する際、受け入れ先がなかなか見つからず時間を要することが少なくなかった。
2. 総合相談支援業務	48点中	31	64.6%	31	64.6%	
3. 権利擁護業務	69点中	49	71.0%	53	76.8%	
4. 認知症高齢者への支援	48点中	23	47.9%	23	47.9%	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	36点中	27	75.0%	27	75.0%	
6. 医療機関との連携	30点中	22	73.3%	22	73.3%	
7. 介護予防等関連事業	54点中	28	51.9%	28	51.9%	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	31	64.6%	31	64.6%	
合計	381点中	248	65.1%	254	66.7%	

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上



# 令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		犬山南地区		
1. 運営体制		R3	R2	自己評価
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>				初回訪問・困難ケースに対しては引き続き2名での訪問を実施している。毎朝、ミーティングを情報共有を図っている。 地域づくり担当者の欠員があった。
1	3職種を常時定数配置している	0	3	
2	センター内で職務分担を設定し、かつ業務が行われている	3	3	
3	支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合、多様な観点から支援できるよう複数職員が関与している	2	2	
4	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している	2	1	
5	センター内で会議(打ち合わせ・ミーティング)等を計画的に開催し、業務内容等の情報を共有している	2	2	
<b>②中立性・公平性の確保</b>				研修に参加し包括支援センターの業務を理解し高齢者支援に努めている。
6	職員が、センターは中立・公正でなければならないと理解している。	3	3	
7	利用者に対し、市町村事業であることを周知している	3	3	
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している	3	3	
9	職員の倫理要領(またはこれに付随するもの)を定め遵守している	3	3	
<b>③業務改善への取組</b>				地域住民の声や利用者・家族からの要望や意見は毎日に行っているミーティングで情報共有を図っている。
10	職員が、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している	2	2	
11	日々の業務における課題・反省点をセンター内職員全員で共有し、改善を図る仕組みを構築している	3	3	
<b>④職員の資質向上</b>				自己目標を設定・評価に対しての指導や助言がしっかり行えていなかった。
12	職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	0	0	
13	職員がスキルアップのための研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が配慮している	3	3	
14	市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	2	2	
15	研修で得た知識・情報について、センター内で伝達する機会を設け、職員全員で共有するようにしている	3	3	
16	運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	3	3	
		16項目 48点中	37	39

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

2. 総合相談支援業務		犬山南地区		
		R3	R2	自己評価
	①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握			今年度75歳を迎える世帯に対し訪問を実施した。
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している	2	2	
2	収集情報に基づく戸別訪問を実施している	1	1	
3	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している	2	2	
4	上記項目以外の、地域の実情に対応した実態把握のための工夫をしている	3	3	
	②所在不明高齢者の把握			把握できていない。
5	担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	0	0	
	③相談受付での対応			時間外・休日は待機電話での対応を行っている。相談に対しては迅速な対応・必要機関への連携支援を行っている。
6	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている	3	3	
7	多岐にわたる相談をワンストップで受け止めるよう努めている	3	3	
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている	2	2	
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている	2	2	
10	24時間・365日緊急相談体制を含む、緊急的な相談への受付体制ができている	3	3	
11	高齢者以外の相談にも対応している	2	2	
	④防災対応			災害時の避難場所の案内は行っているが、実際の避難方法や支援体制についての現状把握は行っていない。
12	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	1	1	
13	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	1	1	
14	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている	2	2	
15	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している	2	2	
	⑤福祉・介護用具の相談			相談に対し適宜対応している。
16	高齢者及びその家族の福祉・介護用具利用についての相談に対応し、周知・紹介・説明を実施している	2	2	
16項目 48点中		31	31	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

3. 権利擁護業務		犬山南地区		自己評価
		R3	R2	
<b>①成年後見制度の活用促進</b>				要請に応じ案内をしている。
1	職員が、成年後見制度について理解している	2	2	
2	申立の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
3	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	1	1	
4	成年後見制度の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	2	
5	成年後見制度の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	2	
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>				要請に応じ案内をしている。
6	職員が、日常生活自立支援事業について理解している	2	2	
7	事業利用の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
8	地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	1	1	
9	日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	2	
10	日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	2	
<b>③高齢者虐待への対応</b>				犬山市のフローチャートを活用、センターのマニュアルはない。
11	職員が、高齢者虐待についての定義を理解している	2	2	
12	職員が、高齢者虐待の対応では虐待者の支援も必要なことについて理解している	3	3	
13	自治体や他機関と連携し、事例に対応できる体制を整えている	3	3	
14	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている	3	3	
15	高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	0	
16	自治体から提供された対応フローチャート及び帳票を活用している	3	3	
17	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している	3	3	
18	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している	3	3	
19	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、迅速に対応している	3	3	
<b>④消費者被害の防止</b>				要望に応じ行っているが、今年後は訪問が制限されたこともあり十分に行えていない。
20	職員が、消費者被害の動向や相談先について理解している	2	3	
21	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている	2	3	
22	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している	2	3	
23	地域の高齢者が被った消費者被害の情報の分析を行って、予防に努めている	2	3	
23項目 69点中		49	53	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

4. 認知症高齢者への支援		犬山南地区		自己評価
		R3	R2	
	①認知症高齢者への理解			認知症サポーター養成講座を感染対策を行い少人数で行った。
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している	2	1	
	②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて			チームオレンジ立ち上げの活動を行った。
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している	2	1	
3	認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	1	1	
4	介護者を支援するレスパイトケアについて、適切な機関を紹介することができる	2	2	
5	上記以外で、介護者に対する支援の取組みを実施している	3	3	
6	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している	3	0	既存の認知症カフェと協働を検討したが、認知症カフェの活動が中止となり活動できなかった。
7	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	0	0	チームオレンジ立ち上げ活動をおこなった。
8	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	0	0	
9	認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	1	0	
	③医療機関との連携について			認知症高齢者の受診支援・医療機関との連携を行っている。
10	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	2	
11	認知症疾患医療センターと連携をとっている	1	0	
12	地域関係者から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	3	3	
13	医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	3	3	
	④認知症高齢者への権利擁護について			認知症高齢者が地域で暮らし続けられるよう適切な機関への連携支援を行っている。
14	成年後見制度等を利用して本人の利益を守るための支援を実施している	2	2	
15	認知症高齢者への虐待防止への取組みを実施している	2	2	
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している	3	3	
		16項目 48点中	30	23

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		犬山南地区		
		R3	R2	自己評価
	①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携			
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している	3	3	
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている	3	3	
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している	3	3	
	②介護支援専門員に対する個別支援(相談)			困難ケースに対し相談支援や同行訪問を実施している。
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプランの作成指導や助言等を実施している	2	2	
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している	2	2	
6	担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	2	2	
7	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している	2	2	
8	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、指導及び問題解決のための協力を実施している	2	2	
9	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	2	2	
	③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援			
10	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的で開催している	2	2	
11	上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	2	2	
12	介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	2	2	
12項目 36点中		27	27	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

6. 医療機関との連携		犬山南地区		自己評価
		R3	R2	
	①医師・看護師との連携について			担当医へ相談は行っているが会議へ出席は難しいと感じている。
1	支援を必要としている方のことを相談できる医師がいる	3	3	
2	支援を必要としている方のことを相談できる看護師がいる	3	3	
3	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	1	1	
4	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する看護師が参加している	2	2	
	②医師会・医療機関との連携について			医療連携の会に引き続き参画している。入退院時等、医療機関と連携を行っている。
5	地域の医療機関と連携体制が構築されている	2	2	
6	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れている	2	2	
7	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている	3	3	
	③在宅医療との連携について			退院時支援・自宅での見取りの際、関係医療機関等と積極的に連携し、家族支援に努めている。
8	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
9	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
10	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている	2	2	
		10項目 30点中	22	22



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

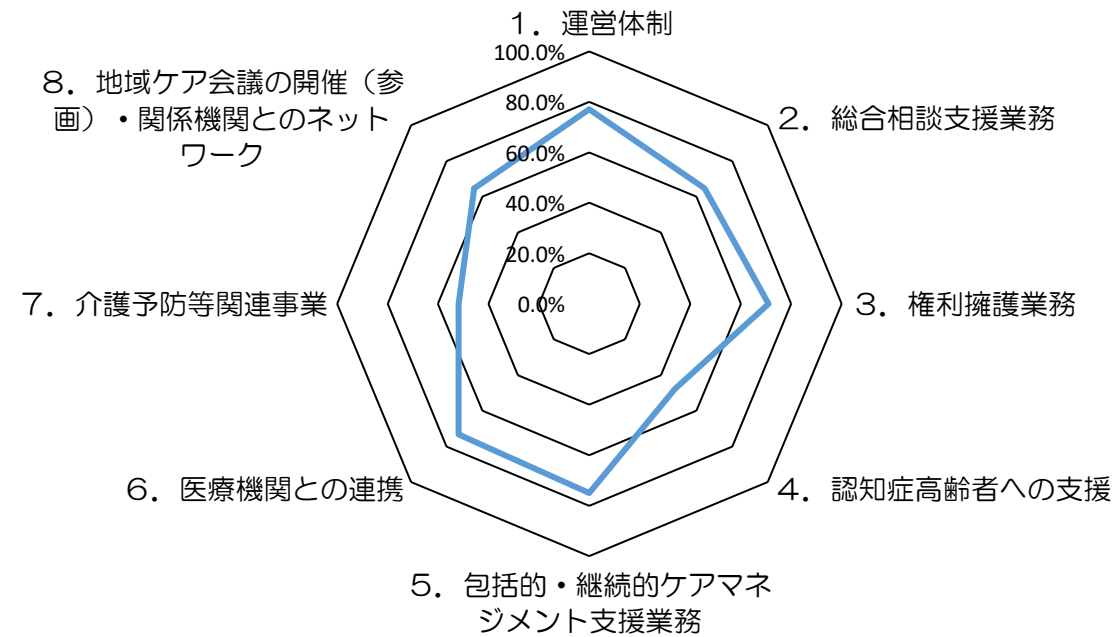
7. 介護予防等関連事業		犬山南地区		自己評価
		R3	R2	
	<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勸奨</b>			基本チェックリストを行った。合わせて、体操教室では体力測定を実施した。
1	さまざまな機会を捉えて、介護予防事業対象者の把握を実施している	2	2	
2	介護予防事業対象者の生活状況や身体状況を把握している	2	1	
3	住民に対し、介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している	2	1	
4	介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	2	1	
5	実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	2	2	
	<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>			適切な支援を心がけている。
6	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している	2	2	
	<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>			毎朝のミーティングにて情報共有を行い業務の振り返り・改善に努めている。ケアプラン作成にはインフォーマルサービスを含めプランを提案することを心がけている。
7	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している	2	2	
8	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している	2	2	
9	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的実施している	2	2	
	<b>④地域の介護予防活動の支援</b>			専正寺サロン立ち上げ支援を行った。
10	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している	2	2	
11	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している	2	2	
	<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>			人材育成は課題と感じている。
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	1	1	
13	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	1	1	
	<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>			管理栄養士による健康講話を開催した。
14	介護予防の趣旨(6つの柱)をセンターの職員が理解している	2	2	
15	介護予防教室を実施している	2	0	
16	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	3	3	
	<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>			基本チェックリストを実施し該当者へ指導・助言を行った。
17	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	2	0	
18	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	2	2	
18項目 54点中		35	28	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		犬山南地区		自己評価
		R3	R2	
	①地域ケア会議の開催(参画)			困難事例に対しケア会議を実施。会議への参加者が限られ、十分に周知活動ができていないと感じている。
1	地域ケア会議を開催している	3	3	
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している	2	2	
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	0	0	
4	必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	1	1	
	②地域特性の把握			理解している
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している	2	2	
	③担当圏域全体との関係づくり			センターのチラシを作成し配布している。
6	担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している	3	0	
7	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	2	2	
8	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	センターのチラシに掲載している。
9	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	
	④地域アセスメント			民生委員からの聴取や協議体にて情報収集に努めている。
10	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している	2	2	
11	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している	2	2	
	⑤地域における関係機関とのネットワーク			つどい場がない地域があり、ニーズに対して改善や創生に取り組めていない。
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している	2	2	
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している	2	2	
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	1	1	
	⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について			新しく2か所のサロンの立ち上げ支援をおこなった。チームオレンジ立ち上げに向け活動を行っている。
15	担当地域に既存のネットワークがある	3	3	
16	担当地域で構築中のネットワークがある	3	3	
16項目 48点中		34	31	

## 犬山南地区

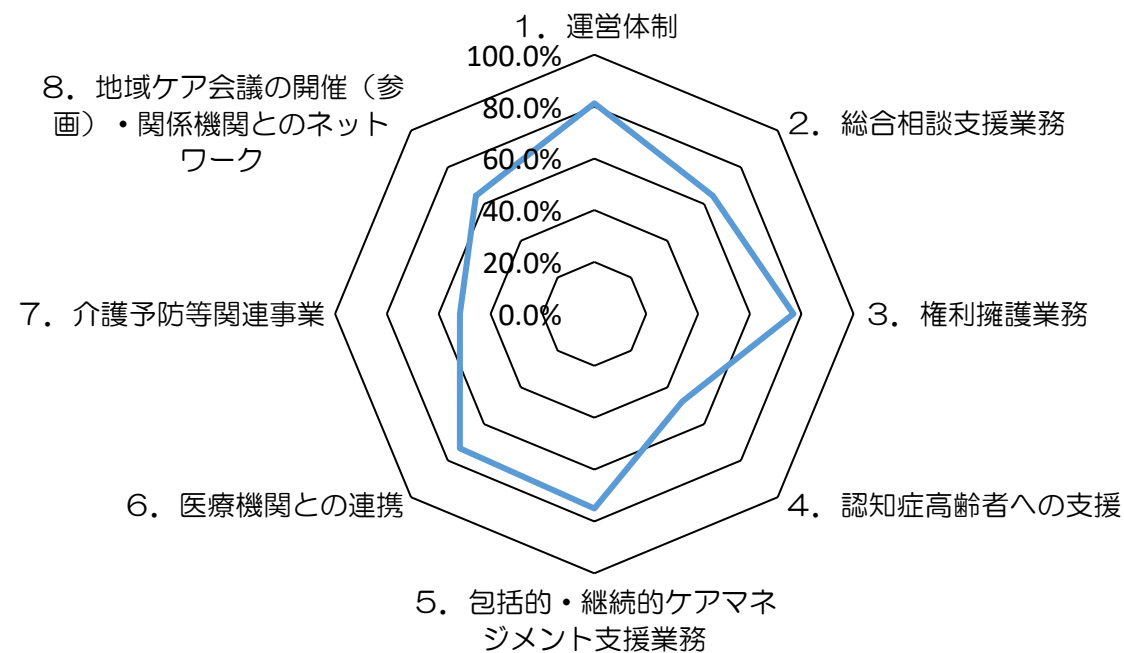
R 3 年度



### 【市評価】

- ・医療法人の強みを活かし、介護予防に関する栄養・口腔の取組みに専門職を活用できている。
- ・法人の方針に伴い活動制限がかかる中、できることを探して取り組んでいた。
- ・今後も病院との連携を強化しながら、介護予防や認知症の取組みを進めてほしい。
- ・「予防」の視点で各業務の周知・啓発活動の充実を求める。
- ・経験が浅い職員が多い中、センター内で協力して対応していただいていると評価する。
- ・職員のセルフチェックの仕組みを整えることで、センター業務全体の更なる底上げを期待する。

R 2 年度



### 【運営協議会評価】

- ・ご苦労様です。良い活動ができていると考えます。
- ・概ね評価。
- ・日用品・薬等の宅配についての協議の検討。
- ・総合相談業務の実績が他地区より多く、職員が不足している中よく活動されていると思いました。
- ・医療法人の強みを活かした取り組みを継続して進められるといいと思います。
- ・コロナ禍でも感染防止に留意されながらよく活動されており、他地区に比べて自己評価が低いことが気になりました。
- ・事業所の場所によりいろいろな業務がコロナの為困難でありましたが、その中で出来る事をされていた。
- ・「認知症高齢者の支援」「介護予防等関連事業」に関してチェックリストの評価が大幅にアップしており、新規事業の取り組みに力を注がれたことが評価できると思います。
- ・体操教室やチラシ、パンフレットの配布にて介護予防及び啓発活動の実施回数も多く、引き続き取り組んで頂けたらと思います。
- ・高齢者世帯訪問調査の新規実施件数等、コロナ禍でも十分に活動されていると思います。

## 自己評価「0:できていない」及び「1:ほとんどできていない」についての補足説明

犬山南地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
<b>1. 運営体制</b>			
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>			
3職種を常時定数配置している	0		
<b>④職員の資質向上</b>			
職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	0	自己に目標を設定し評価したが、管理者が変更になり指導があいまいになってしまった。	改めて自己目標を設定、評価時期定め指導を行う。
<b>2. 総合相談支援業務</b>			
<b>①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握</b>			
収集情報に基づく戸別訪問を実施している	1	75歳世帯訪問は行っている。継続的な訪問が十分ではない。	見守りが必要と考える世帯への継続的な訪問も実施している。
<b>②所在不明高齢者の把握</b>			
担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	0	把握できていない。	世帯訪問を実施し把握に努めていく。
<b>④防災対応</b>			
高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	1	災害時に避難所等の案内は行っているが情報が十分ではないと考えている。	災害時の防災対策等の描法収集に努める。
災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	1		
<b>3. 権利擁護業務</b>			
<b>①成年後見制度の活用促進</b>			
地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	1	必要に応じて継発はしているが積極的な働きかけは行っていない。	チラシ等を活用し積極的な主知活動を行っていく。
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>			
地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	1	必要に応じて継発はしているが積極的な働きかけは行っていない。	チラシ等を活用し積極的な主知活動を行っていく。
<b>③高齢者虐待への対応</b>			
高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	犬山市の虐待フローチャートを活用している。	犬山市の虐待フローチャートを活用していく。
<b>4. 認知症高齢者への支援</b>			
<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			
認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	1	徘徊高齢者の対応についてのしくみ作りについて構築されていない。	チームオレンジ立ち上げ、構築の取り組みを行っていく。
認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	0	認知症カフェは実施できていない。	認知症相談や本人・家族の声を聴く機会を設けカフェ開催に向けて準備していく。
本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	0		
認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	1		
<b>③医療機関との連携について</b>			
認知症疾患医療センターと連携をとっている	0	名古屋市のセンターから連携があった。	積極的に活用していきたいと考えている。

犬山南地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
<b>6. 医療機関との連携</b>			
<b>①医師・看護師との連携について</b>		医師の参加ケースがない。	参加いただけるよう働きかけていく。
サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	1		
<b>7. 介護予防等関連事業</b>			
<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>		人材育成が課題	サロン等への参加者を新しく募り、活動いただけるよう働きかけを行っていきたい。
介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	1		
介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	1		
<b>8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク</b>			
<b>①地域ケア会議の開催(参画)</b>		会議への参加者が限られ、十分周知されていないと感じている	関係者に積極的に働きかけていきたい。
担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	0		
必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	1		
<b>⑤地域における関係機関とのネットワーク</b>		つどいの場がない地域があり、ニーズに対して改善や創生に取り組めていない	地域の把握に努め改善策を探る努力をする。
地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	1		

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

		城東地区					
		社会福祉法人ともいき福祉会					
		R3		R2		総合自己評価	
項目		点数	率	点数	率		
1. 運営体制	48点中	39	81.3%	39	81.3%	<p>・R3年度は保健師が産休中であり、また地域づくりも2カ月ほど不在の時期があったため、1年を通して人員不足となった。</p> <p>・R3は例年より相談件数が多かった。職員間で支援の方向性を確認しながら情報共有を行い必要な支援につなぐよう心掛けた。</p> <p>・認知症高齢者の支援において、例年行っている中学校での認知症サポーター養成講座はコロナ感染防止の観点から今年度も中止した。成人向けの講座を密にならないよう工夫して開催を行った。</p> <p>その他コロナ自粛後に認知症の相談が増え、権利擁護に関する情報提供を行う機会も多かった。</p> <p>・世帯訪問はコロナ自粛もあり、例年のような件数は訪問ができなかったが、過去の世帯訪問リストから高リスク、中リスクを抽出し、高リスクから優先的に行うことができた。</p>	
2. 総合相談支援業務	48点中	32	66.7%	30	62.5%		
3. 権利擁護業務	69点中	44	63.8%	36	52.2%		
4. 認知症高齢者への支援	48点中	24	50.0%	24	50.0%		
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	36点中	21	58.3%	21	58.3%		
6. 医療機関との連携	30点中	16	53.3%	16	53.3%		
7. 介護予防等関連事業	54点中	39	72.2%	39	72.2%		
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	30	62.5%	30	62.5%		
合計	381点中	245	64.3%	235	61.7%		

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		城東地区		
1. 運営体制		R3	R2	自己評価
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>				・保健師が1年間不在であり、地域づくりも2カ月間の不在で人員不足ではあったが、困難事例に関しては2名以上で関与したり、緊急時は担当外が対応するなど協力して業務を行った。 ・コロナによる事業中止や外出制限があったため、個別相談に力を入れた。
1	3職種を常時定数配置している	0	3	
2	センター内で職務分担を設定し、かつ業務が行われている	3	3	
3	支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合、多様な観点から支援できるよう複数職員が関与している	2	2	
4	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している	3	3	
5	センター内で会議(打ち合わせ・ミーティング)等を計画的に開催し、業務内容等の情報を共有している	3	3	
<b>②中立性・公平性の確保</b>				・中立公正に運営している。 ・活動時には犬山市委託事業であることを必ず伝えていく。 ・個別支援のサービス事業所に関しては利用者の意見や希望を踏まえ、確認を取りながら偏りが無いよう紹介を行っている。
6	職員が、センターは中立・公正でなければならないと理解している。	3	3	
7	利用者に対し、市町村事業であることを周知している	3	3	
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している	3	3	
9	職員の倫理要領(またはこれに付随するもの)を定め遵守している	3	3	
<b>③業務改善への取組</b>				・要望や意見を確認しながら業務を行い、また改善が必要だと思われることはセンター内で話し合い改善できるように努力している。
10	職員が、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している	2	2	
11	日々の業務における課題・反省点をセンター内職員全員で共有し、改善を図る仕組みを構築している	2	1	
<b>④職員の資質向上</b>				・年に2回セルフチェックを行い業務の振り返りをしている。 ・研修に関しては市から通達されるものは必ず周知し、必要な研修は受けるようにしている。またセンター内では法人全体で毎月1回の勉強会と年に2回、包括及び法人内居宅と連携して独自の勉強会を行っている。
12	職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	2	0	
13	職員がスキルアップのための研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が配慮している	2	2	
14	市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	2	2	
15	研修で得た知識・情報について、センター内で伝達する機会を設け、職員全員で共有するようにしている	3	3	
16	運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	3	3	
		16項目 48点中	39	39

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

2. 総合相談支援業務		城東地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員からの相談や情報提供に関しては瞬時に対応するよう心掛けている。</li> <li>・世帯訪問は今年度もリスク世帯を中止に行った。その際に必要なサービスを確認し、情報提供を行っている。</li> </ul>
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している	2	2	
2	収集情報に基づく戸別訪問を実施している	2	3	
3	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している	3	2	
4	上記項目以外の、地域の実情に対応した実態把握のための工夫をしている	3	3	
<b>②所在不明高齢者の把握</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・所在不明高齢者があれば民生委員や地域と情報共有を行ったり、認知症高齢者の行方不明者を予防するために見守りシールやGPSなどの説明を行っている。</li> </ul>
5	担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	2	1	
<b>③相談受付での対応</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員にワンストップ窓口であることを意識し住民が相談しやすい態度で対応するよう心掛けている。</li> <li>・土日も含め365日対応可能な体制であり、それを住民にも周知している。</li> </ul>
6	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている	2	2	
7	多岐にわたる相談をワンストップで受け止めるよう努めている	2	2	
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている	2	2	
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている	2	1	
10	24時間・365日緊急相談体制を含む、緊急的な相談への受付体制ができている	3	3	
11	高齢者以外の相談にも対応している	2	3	
<b>④防災対応</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難場所について確認するよう心掛けているが、地域住民との話し合いまでは持っていない。</li> </ul>
12	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	2	1	
13	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	0	0	
14	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている	1	1	
15	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している	2	2	
<b>⑤福祉・介護用具の相談</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具業者各社の特色を把握し、また福祉用具の特性について理解した上で、それぞれを必要箇所で利用して頂けるよう、支援している。</li> </ul>
16	高齢者及びその家族の福祉・介護用具利用についての相談に対応し、周知・紹介・説明を実施している	2	2	
16項目 48点中		32	30	



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

3. 権利擁護業務		城東地区		自己評価
		R3	R2	
<b>①成年後見制度の活用促進</b>				・権利擁護の研修に参加したり、資料をファイリングして必要な権利擁護の説明を職員全てが説明できるよう心掛けている。
1	職員が、成年後見制度について理解している	2	2	
2	申立の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
3	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	2	0	
4	成年後見制度の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	1	
5	成年後見制度の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	1	
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>				・日常生活自立支援制度は理解しているが説明をする機会が少なかった。また説明して申請を上げたが、活用には至らなかった。
6	職員が、日常生活自立支援事業について理解している	2	2	
7	事業利用の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
8	地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	1	0	
9	日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	1	1	
10	日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	1	1	
<b>③高齢者虐待への対応</b>				・虐待通報時は社会福祉士を中心に、経験のある職員が対応している。センター独自のマニュアルは作成していないが、市のフローチャートを基本とし、昨年度作成した新しい帳票を用いて対応している。
11	職員が、高齢者虐待についての定義を理解している	2	2	
12	職員が、高齢者虐待の対応では虐待者の支援も必要なことについて理解している	3	3	
13	自治体や他機関と連携し、事例に対応できる体制を整えている	2	2	
14	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている	2	2	
15	高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	0	
16	自治体から提供された対応フローチャート及び帳票を活用している	3	3	
17	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している	2	2	
18	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している	2	1	
19	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、迅速に対応している	3	3	
<b>④消費者被害の防止</b>				・高齢者団体に向けて消費者被害の啓発を行っている。また個別でも必要に応じて対応する体制は整っている。
20	職員が、消費者被害の動向や相談先について理解している	2	2	
21	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている	2	2	
22	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している	2	2	
23	地域の高齢者が被った消費者被害の情報の分析を行って、予防に努めている	2	0	
23項目 69点中		44	36	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

4. 認知症高齢者への支援		城東地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①認知症高齢者への理解</b>			・予定していた中学校の講座は中止となったが、城東コミュニティでは例年通り行うことができた。
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している	2	2	
	<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			・認知症相談では地域住民の見守りやネットワークの必要性を伝えたり、実際に見守り体制が整っている地域も出来ている。今後はネットワークが各地域で作れるように支援を行いたいと思っている。
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している	2	1	
3	認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	1	・出前講座では認知症の予防や対応の仕方、地域での見守りの必要性などを伝えている。
4	介護者を支援するレスパイトケアについて、適切な機関を紹介することができる	2	2	
5	上記以外で、介護者に対する支援の取組みを実施している	2	0	
6	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している	3	3	・認知症カフェは開催できなかったが、家族支援に向けて困っている家族へ認知症カフェを説明したり、開催に向けた相談を行っている。
7	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	1	1	
8	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	1	0	
9	認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	2	1	
	<b>③医療機関との連携について</b>			・医療機関からの認知症相談に関しては適宜対応したり、情報共有を行ったりしている。また認知症疑いの方は医療機関で診察を受けて頂くよう医療機関を照会するなど、情報提供を行っている。
10	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	1	
11	認知症疾患医療センターと連携をとっている	1	1	
12	地域関係者から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	3	3	
13	医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	2	2	
	<b>④認知症高齢者への権利擁護について</b>			・認知症の相談時には成年後見制度の説明や書類の作成援助などを行っている。また虐待に繋がらないようレスパイトを利用してもらったりと介護者のストレス緩和ができるよう介護者支援も意識して支援している。
14	成年後見制度等を利用して本人の利益を守るための支援を実施している	2	1	
15	認知症高齢者への虐待防止への取組みを実施している	2	2	
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している	2	3	
16項目 48点中		31	24	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		城東地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携</b>				・入院中の相談事例に関し、病院と情報共有を図りながら支援を行い、その後は地域の介護支援専門員へ引継ぎをするなど、連携を図っている ・介護支援専門員からの相談事例に対応しているが独自の取り組みとまでは行っていない。
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している	2	2	
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている	3	3	
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している	0	0	
<b>②介護支援専門員に対する個別支援(相談)</b>				・予防プラン作成の助言を行っている。 ・地域ケア会議が必要と思われるケースについて声掛けを行ったり、ケア会議の必要性について説明をしている。
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプランの作成指導や助言等を実施している	2	2	
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している	3	3	
6	担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	1	1	
7	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している	2	2	
8	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、指導及び問題解決のための協力を実施している	2	1	
9	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	1	1	
<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>				・合同勉強会は意見が少なかったため書面で回答する形をとったが、精神的な病を持った家族も増えてきたため、テーマとしては良かったと感じている。 ・研修会や事例検討会の開催はあまり出来なかったが、困難事例に関しては相談を受けたり、情報共有を行ったりした。
10	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的開催している	2	3	
11	上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	1	1	
12	介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	2	2	
12項目 36点中		21	21	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

6. 医療機関との連携		城東地区		自己評価
		R3	R2	
	①医師・看護師との連携について			・訪問診療医や看護師に相談し、また指示を頂き連携して支援を行っている。 ・サービス担当者会議には事前にコメントを頂いたり、書面で照会を頂いている。
1	支援を必要としている方のことを相談できる医師がいる	2	1	
2	支援を必要としている方のことを相談できる看護師がいる	2	1	
3	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	2	1	
4	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する看護師が参加している	2	2	
	②医師会・医療機関との連携について			・担当の利用者さんが入院されたり、受診する際には必要に応じて病院内のMSWと連携したり、医師から意見を頂いたりと情報共有を行っている。
5	地域の医療機関と連携体制が構築されている	2	2	
6	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れている	2	2	
7	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている	2	1	
	③在宅医療との連携について			・在宅医療に関しては書面やびーよんねっなどを利用し、情報共有を行っている。 ・退院時には入院中の状況を確認したり、退院後の必要な支援のアドバイスを頂いている。
8	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
9	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
10	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている	2	2	
10項目 30点中		20	16	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

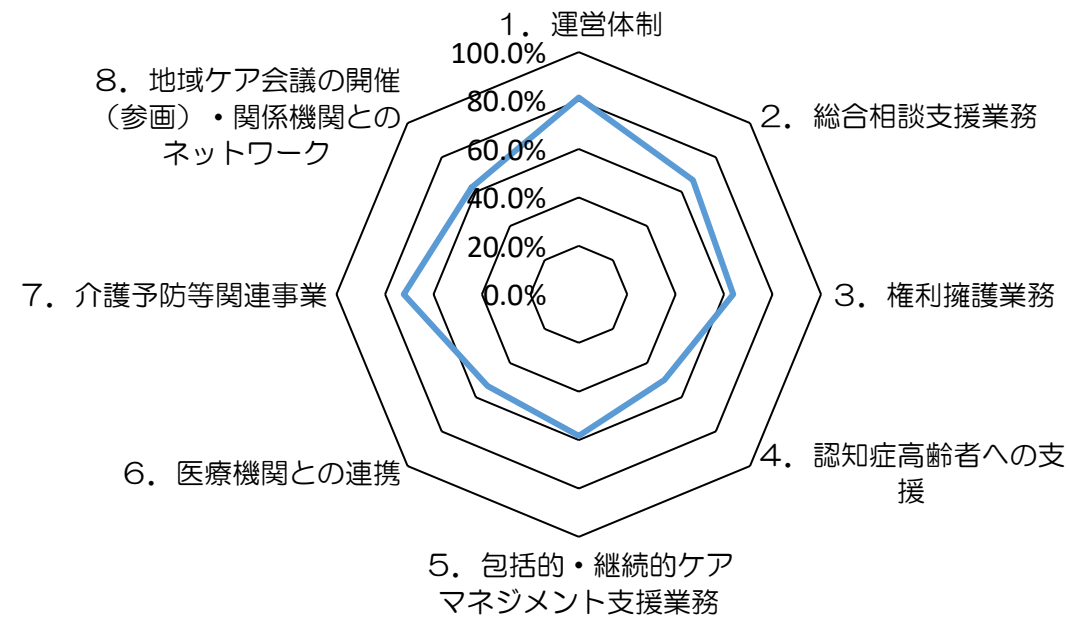
7. 介護予防等関連事業		城東地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勧奨</b>				・体操教室やサロンなどに出向き把握するよう努め、参加者から支援が必要な方の情報を得て個別で相談を行っている。 ・体操教室で定期的に体力測定を行い、1年前と比較してその効果を測定している。
1	さまざまな機会を捉えて、介護予防事業対象者の把握を実施している	3	3	
2	介護予防事業対象者の生活状況や身体状況を把握している	2	2	
3	住民に対し、介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している	3	3	
4	介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	2	1	
5	実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	2	1	
<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>				・職員が介護予防を目的とした支援ができるよう意識している。
6	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している	2	2	
<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>				・本人の状態や希望を把握し、本人主体で自己にて出来る目標をふまえたプランを作成している。
7	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している	3	3	
8	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している	2	2	
9	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的実施している	2	2	
<b>④地域の介護予防活動の支援</b>				・適宜訪問し、助言を行ったり、新に参加したい方を繋げるなどフォローを行っている。
10	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している	2	3	
11	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している	2	3	
<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>				・適宜サロンの代表に様子を伺い相談を受けたり、情報提供をしている。
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	2	1	
13	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	2	1	
<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>				・介護予防の必要性を職員が理解し、立ち上げの際は職員全員が協力し自主化まで対応する体制が整っている。
14	介護予防の趣旨(6つの柱)をセンターの職員が理解している	2	2	
15	介護予防教室を実施している	3	3	
16	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	3	3	
<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>				・適宜チェックリストを行い、運動や栄養指導を行った。また口腔体操を行い、口腔機能の維持が大切なことを伝えている。 ・定期的な健康診断の必要性やを伝えている。
17	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	3	3	
18	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	2	1	
18項目 54点中		42	39	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		城東地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①地域ケア会議の開催(参画)</b>				・困難事例や虐待に関して地域ケア会議を開催し、目標や方向性を定め目標に近づけるよう対応している。またセンター内で情報共有を行っている。
1	地域ケア会議を開催している	3	3	
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している	2	0	
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	2	0	
4	必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	2	2	
<b>②地域特性の把握</b>				・公開されている情報は概ね把握している。
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している	3	3	
<b>③担当圏域全体との関係づくり</b>				・センターの周知活動は積極的に実施している。
6	担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している	3	3	
7	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	2	2	
8	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	・365日対応できる体制であることを周知している。
9	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	
<b>④地域アセスメント</b>				・課題の把握及び分析は適宜実施している。
10	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している	3	3	
11	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している	3	3	
<b>⑤地域における関係機関とのネットワーク</b>				・買い物支援の継続に向けて地域の方と支援者双方と情報共有を行い、意向に沿うものにできるよう調整を行った。 ・新たな買い物支援が行えないかと、業者を探したり、声掛けをし地域と繋げられるよう調整を行った。
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している	2	2	
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している	2	2	
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	2	1	
<b>⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について</b>				・サロンや体操教室と良好な関係性を築けている。 ・民生委員とは適宜情報共有を行っている、 ・地域の情報を把握しネットワークが構築できるよう情報共有を行っている。
15	担当地域に既存のネットワークがある	2	0	
16	担当地域で構築中のネットワークがある	0	0	
16項目 48点中		37	30	

城東地区

R 3 年度



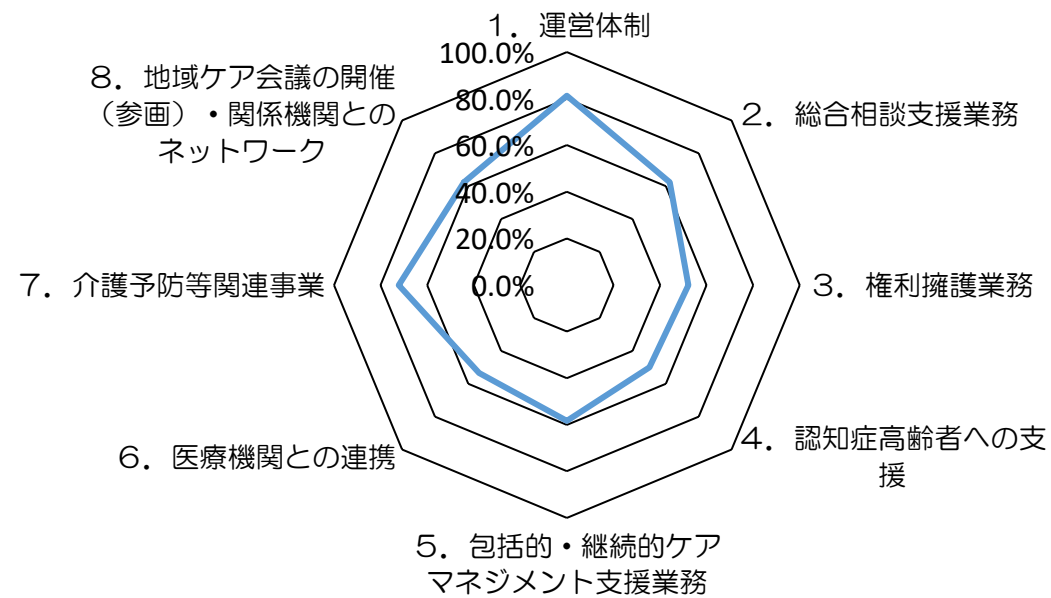
【市評価】

- ・配置職員の不在期間があり、在籍する職員にかなりの負担がかかっていたため、タイムリーな動きがどうしても難しくなることが多く見られた。
- ・年度途中で管理者が退職したり、不在となった職種に関する業務が滞ることもあり、新たな管理者の負担が大きかったと思われる。
- ・職員間でできる範囲のことを考えて、業務に取り組んでくれたと感じる。
- ・コミュニティ活動が活発な地域であり、小規模校もあることから、小さな単位での事業実施で活動の充実を期待する。

【運営協議会評価】

- ・ご苦労様です。良い活動ができていると考えます。
- ・概ね評価。
- ・医療機関との連携が低いと感じる。
- ・コロナ禍やスタッフ不足の中、優先順位を考慮して活動されていました。
- ・買い物支援など地域のネットワークづくりを今後も継続されることを期待します。
- ・人員不足の中、なかなか実施することが大変の中、訪問件数も多く対応されてみえた。
- ・世帯訪問等にて高リスク世帯の早期発見・早期介入に努められ、早期課題解決・課題拡大予防に期待できると思いました。
- ・利用者主体のプランだけでなく、家族に対しても目を向け丁寧な支援が行えていることを感じました。
- ・医療機関との連携が困難な場面も少なくないという意見も聞かれる中、連携が図れていることを評価したいです。
- ・予防サービス計画の作成、委託件数が他のセンターと比較して少ないように感じます。地域の介護支援専門員との連携を進める必要があると思います。
- ・高齢者世帯訪問調査ですが、R3計画で200件の所、新規件数で9件、延べ実績でも73件で、計画よりかなり少ないように思われますので、対応をよろしくお願ひしたいと思ひます。

R 2 年度



## 自己評価「0:できていない」及び「1:ほとんどできていない」についての補足説明

城東地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
<b>1. 運営体制</b>			
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>			
3職種を常時定数配置している	0	産休のため保健師が1年間不在であり、地域づくりも2カ月間不在の時期があった。	地域づくりは補充ができており、保健師はR4.11に復帰予定である。
<b>2. 総合相談支援業務</b>			
<b>④防災対応</b>			
災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	0	災害時の対応については避難場所などは把握しているものの、地域住民と話し合いまでは出来ていない。	体操教室やサロンなどで防災についての備えや避難経路などを話し合う機会を設けたい。
本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができています	1		
<b>3. 権利擁護業務</b>			
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>			
地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	1	日常生活自立支援事業を説明する機会が少なく、また活用に向けて調整した際も利用不可となった経緯がある。	成年後見制度の支援が多いが、日常生活自立支援制度も合わせて説明を行っていききたい。
日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	1		
日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	1		
<b>③高齢者虐待への対応</b>			
高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	市作成のフローチャートを基本とし新しく作成した帳票を使用している。	包括独自の対応マニュアルを作成し職員間で周知していききたい。
<b>4. 認知症高齢者への支援</b>			
<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			
認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	1	認知症カフェは必要と思われる方へ声掛けや開催の意義などを伝えてはいるものの、開催には至らなかった。	認知症カフェが開催ができるよう準備をしていききたい。
本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	1		
<b>③医療機関との連携について</b>			
認知症疾患医療センターと連携をとっている	1	認知症疾患医療センターとは直接連携をとっていないが、会議の時に情報を頂いたり、受診が必要な方へは一つの選択肢として情報提供を行っている。	認知症疾患医療センターと連携をとれるよう役割をもう少し理解できるよう努める。
<b>5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>			
<b>①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携</b>			
地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取組みを実施している	0	地域の介護支援専門員と常に情報交換など連携をしているが、独自の取組みまではいかない。	今後の課題として対応していききたい。
<b>②介護支援専門員に対する個別支援(相談)</b>			
担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	1	困難事例などの相談に対して一緒に取り組んだりアドバイスをすることもありますが、経験のある介護支援専門員が多いため、問題解決能力はそれぞれに高いと感じている。	問題解決について支援が必要な時は今後も一緒に考えて対応していききたい。
居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	1		
<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>			
上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	1	個別での対応が主となりネットワークの構築まではいかなかった。	担当圏域の介護支援専門員とネットワークが構築し、協力ができるようにしていききたい。



城東地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク			
⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について		既存のネットワーク以外に構築しているネットワークはない。	ネットワークが構築できるよう活動の幅を広げていきたい。
担当地域で構築中のネットワークがある	0		

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

		羽黒・池野地区				総合自己評価
		医療法人啓友会				
		R3		R2		
項目		点数	率	点数	率	
1. 運営体制	48点中	43	89.6%	46	95.8%	・経験が豊富な職員の配置を継続することで、運営体制において質の維持・向上ができています ・総合相談は、全職員が経過を確認できるように情報共有の徹底ができています ・権利擁護は研修や事例検討などを通して、幅広く対応できるようにし、関係機関との情報共有もできています ・認知症高齢者の支援では、個別相談の対応は関係機関とのネットワークを構築する工夫ができており、認知症カフェの開催もできています ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、医療機関との連携においては、関係機関との連携が円滑にできています ・介護予防等関連事業は地域に出向き、顔の見える関係を継続できており、チラシによる啓発もできています。また、新規で体操教室の立ち上げができた ・地域ケア会議は、介護支援専門員への声かけなどによる周知活動を継続して行い、困難ケースにおいても積極的にアプローチすることができています
2. 総合相談支援業務	48点中	40	83.3%	42	87.5%	
3. 権利擁護業務	69点中	63	91.3%	65	94.2%	
4. 認知症高齢者への支援	48点中	47	97.9%	45	93.8%	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	36点中	36	100.0%	36	100.0%	
6. 医療機関との連携	30点中	25	83.3%	24	80.0%	
7. 介護予防等関連事業	54点中	49	90.7%	49	90.7%	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	46	95.8%	43	89.6%	
合計	381点中	349	91.6%	350	91.9%	

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		羽黒・池野地区		
1. 運営体制		R3	R2	自己評価
	<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>			・困難ケース対応は職員2名以上で対応し、その他の職員も情報共有を徹底している
1	3職種を常時定数配置している	0	3	
2	センター内で職務分担を設定し、かつ業務が行われている	3	3	
3	支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合、多様な観点から支援できるよう複数職員が関与している	3	3	
4	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している	3	3	
5	センター内で会議(打ち合わせ・ミーティング)等を計画的に開催し、業務内容等の情報を共有している	3	3	
	<b>②中立性・公平性の確保</b>			・すべての職員が地域包括支援センター運営マニュアルを読み、中立性・公平性を理解している
6	職員が、センターは中立・公正でなければならないと理解している。	3	3	
7	利用者に対し、市町村事業であることを周知している	3	3	
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している	3	3	
9	職員の倫理要領(またはこれに付随するもの)を定め遵守している	3	3	
	<b>③業務改善への取組</b>			・毎朝のミーティングを継続しており、情報共有を行うことにより円滑に業務ができている
10	職員が、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している	3	3	
11	日々の業務における課題・反省点をセンター内職員全員で共有し、改善を図る仕組みを構築している	3	3	
	<b>④職員の資質向上</b>			・市が主催する研修には積極的に参加できている
12	職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	3	3	
13	職員がスキルアップのための研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が配慮している	2	2	
14	市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	2	2	
15	研修で得た知識・情報について、センター内で伝達する機会を設け、職員全員で共有するようにしている	3	3	
16	運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	3	3	
		43	46	

16項目 48点中

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		羽黒・池野地区		
2. 総合相談支援業務		R3	R2	自己評価
	<b>①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動への参加を積極的に心掛けている</li> <li>・包括支援センター便り(チラシ)を町内の回覧物に入れていただくことにより、窓口周知、介護予防の啓発を行った</li> </ul>
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している	3	3	
2	収集情報に基づく戸別訪問を実施している	3	3	
3	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している	2	2	
4	上記項目以外の、地域の実情に対応した実態把握のための工夫をしている	3	3	
	<b>②所在不明高齢者の把握</b>			・方法に限りがあり、積極的な活動ができなかった
5	担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	2	2	
	<b>③相談受付での対応</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任ケアマネが中心となり、適切なケアマネジメントができた</li> <li>・全職員がケースを把握できるよう経過記録の徹底が出来た</li> </ul>
6	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている	3	3	
7	多岐にわたる相談をワンストップで受け止めるよう努めている	2	3	
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている	3	3	
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている	3	3	
10	24時間・365日緊急相談体制を含む、緊急的な相談への受付体制ができている	3	3	
11	高齢者以外の相談にも対応している	3	3	
	<b>④防災対応</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会が主催する防災・在宅避難者支援検討会議に参加することで、センター内で情報が共有でき啓発につながっている</li> </ul>
12	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	2	2	
13	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	2	2	
14	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている	1	1	
15	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している	2	3	
	<b>⑤福祉・介護用具の相談</b>			・パンフレットを用いて、周知・紹介・説明ができている
16	高齢者及びその家族の福祉・介護用具利用についての相談に対応し、周知・紹介・説明を実施している	3	3	
		40	42	

16項目 48点中

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

3. 権利擁護業務		羽黒・池野地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①成年後見制度の活用促進</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関とのネットワーク構築により連携しやすい環境が整っている</li> <li>・研修に参加し、正確な制度理解の向上に努めている</li> </ul>
1	職員が、成年後見制度について理解している	3	3	
2	申立の相談に対し、支援できる体制を整えている	3	3	
3	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	3	3	
4	成年後見制度の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	3	3	
5	成年後見制度の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	3	
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用には至らなかったが、制度理解はできている</li> </ul>
6	職員が、日常生活自立支援事業について理解している	3	3	
7	事業利用の相談に対し、支援できる体制を整えている	3	3	
8	地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	3	3	
9	日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	3	3	
10	日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	3	
<b>③高齢者虐待への対応</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のマニュアルに沿って対応できている</li> <li>・社会福祉士会において事例検討しており、円滑な対応ができるような環境が整っている</li> </ul>
11	職員が、高齢者虐待についての定義を理解している	3	3	
12	職員が、高齢者虐待の対応では虐待者の支援も必要なことについて理解している	3	3	
13	自治体や他機関と連携し、事例に対応できる体制を整えている	3	3	
14	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている	3	3	
15	高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	0	
16	自治体から提供された対応フローチャート及び帳票を活用している	3	3	
17	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している	3	3	
18	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している	3	3	
19	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、迅速に対応している	3	3	
<b>④消費者被害の防止</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のためチラシにおける啓発を継続している</li> </ul>
20	職員が、消費者被害の動向や相談先について理解している	3	3	
21	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている	3	3	
22	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している	3	3	
23	地域の高齢者が被った消費者被害の情報の分析を行って、予防に努めている	2	2	
23項目 69点中		63	65	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

4. 認知症高齢者への支援		羽黒・池野地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①認知症高齢者への理解</b>			・ケアパスの周知や認サポの開催により、正しい理解の啓発ができている
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している	3	3	
	<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			・既存の資源以外に地域で認知症高齢者を見守るネットワークについては課題が残る
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している	3	3	
3	認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	3	3	
4	介護者を支援するレスパイトケアについて、適切な機関を紹介することができる	3	3	
5	上記以外で、介護者に対する支援の取組みを実施している	3	3	
6	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している	3	3	・認知症カフェを定期的開催できている
7	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している	3	2	
8	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	2	1	
9	認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	3	3	
	<b>③医療機関との連携について</b>			・初期集中支援チームと連絡会を通して円滑に情報共有ができるようにしている
10	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している	3	3	
11	認知症疾患医療センターと連携をとっている	3	3	
12	地域関係者から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	3	3	
13	医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	3	3	
	<b>④認知症高齢者への権利擁護について</b>			・関係機関との連帯によって情報共有、迅速な対応ができている
14	成年後見制度等を利用して本人の利益を守るための支援を実施している	3	3	
15	認知症高齢者への虐待防止への取組みを実施している	3	3	
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している	3	3	
16項目 48点中		47	45	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		羽黒・池野地区		自己評価
		R3	R2	
	<b>①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携</b>			・居宅介護支援事業所向けの研修を行い、連携しやすい関係づくりを継続している
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している	3	3	
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている	3	3	
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している	3	3	
	<b>②介護支援専門員に対する個別支援(相談)</b>			・地域ケア会議へ繋がるケースが増えた
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプランの作成指導や助言等を実施している	3	3	
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している	3	3	
6	担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	3	3	
7	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している	3	3	
8	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、指導及び問題解決のための協力を実施している	3	3	
9	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	3	3	
	<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>			・ケアマネ向けの研修を行い、連携しやすい関係づくりを継続している
10	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的で開催している	3	3	
11	上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	3	3	
12	介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	3	3	
12項目 36点中		36	36	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

6. 医療機関との連携		羽黒・池野地区		自己評価
		R3	R2	
	①医師・看護師との連携について			・担当学会等に医師、看護師が参加するケースは難しく、課題が残る
1	支援を必要としている方のことを相談できる医師がいる	3	3	
2	支援を必要としている方のことを相談できる看護師がいる	3	3	
3	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	1	0	
4	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する看護師が参加している	2	2	
	②医師会・医療機関との連携について			・関係機関が実施する医師会や連絡会、協議会等に出席し、連携ができている
5	地域の医療機関と連携体制が構築されている	3	3	
6	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れている	3	3	
7	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている	3	3	
	③在宅医療との連携について			・必要時に連携しながら実施している
8	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている	3	3	
9	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
10	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている	2	2	
		10項目 30点中	25	24



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

7. 介護予防等関連事業		羽黒・池野地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勧奨</b>				・体操教室、地域サロンなど高齢者の集いの場へ職員が出向き、把握できるように努めている
1	さまざまな機会を捉えて、介護予防事業対象者の把握を実施している	3	3	
2	介護予防事業対象者の生活状況や身体状況を把握している	3	3	
3	住民に対し、介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している	3	3	
4	介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	3	3	
5	実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	3	3	
<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>				・保健師が中心となり、実施している
6	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している	3	3	
<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>				・主任ケアマネがプランの確認を行い、効率よくマネジメントが実施できるように支援体制を整えている
7	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している	3	3	
8	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している	3	3	
9	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的に行っている	3	3	
<b>④地域の介護予防活動の支援</b>				・チラシによる介護予防の取組みなどを実施している
10	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している	3	3	
11	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している	2	2	
<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>				・研修へ参加し、資質向上に努めている
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	1	1	
13	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	2	2	
<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>				・立ち上げから自主化までの活動支援を行い、自主化後の経過を見守りながら支援を継続している
14	介護予防の趣旨(6つの柱)をセンターの職員が理解している	2	2	
15	介護予防教室を実施している	3	3	
16	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	3	3	
<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>				・チェックリストを中心に健康チェックを行っている
17	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	3	3	
18	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	3	3	
18項目 54点中		49	49	

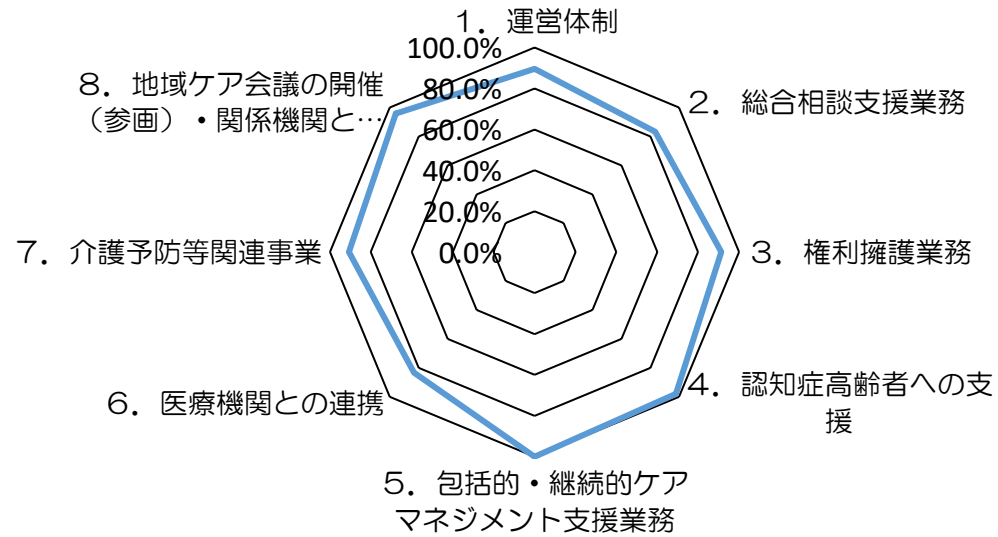
3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		羽黒・池野地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①地域ケア会議の開催(参画)</b>			・困難事例など居宅ケアマネへの呼びかけを行い、関係者への参加の呼びかけも併せて行っている
1	地域ケア会議を開催している	3	3	
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している	3	3	
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	3	3	
4	必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	3	3	
	<b>②地域特性の把握</b>			・資源マップを更新し、職員全員が把握できている
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している	3	3	
	<b>③担当圏域全体との関係づくり</b>			・顔の見える関係性を意識した活動ができている
6	担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している	3	3	
7	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	3	3	
8	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	・24時間体制で連絡が取れる環境にしている
9	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	
	<b>④地域アセスメント</b>			・協議体を中心に地域課題を共有し、出来ることを探している
10	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している	3	3	
11	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している	3	3	
	<b>⑤地域における関係機関とのネットワーク</b>			・地域課題を共有することはできているが、新しい社会資源の創出は課題となっている
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している	2	2	
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している	3	3	
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	2	2	
	<b>⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について</b>			・民生委員など個々との関係は強く、ネットワークを強化するために積極的に働きかけている
15	担当地域に既存のネットワークがある	3	3	
16	担当地域で構築中のネットワークがある	3	0	
		46	43	

16項目 48点中

羽黒・池野地区

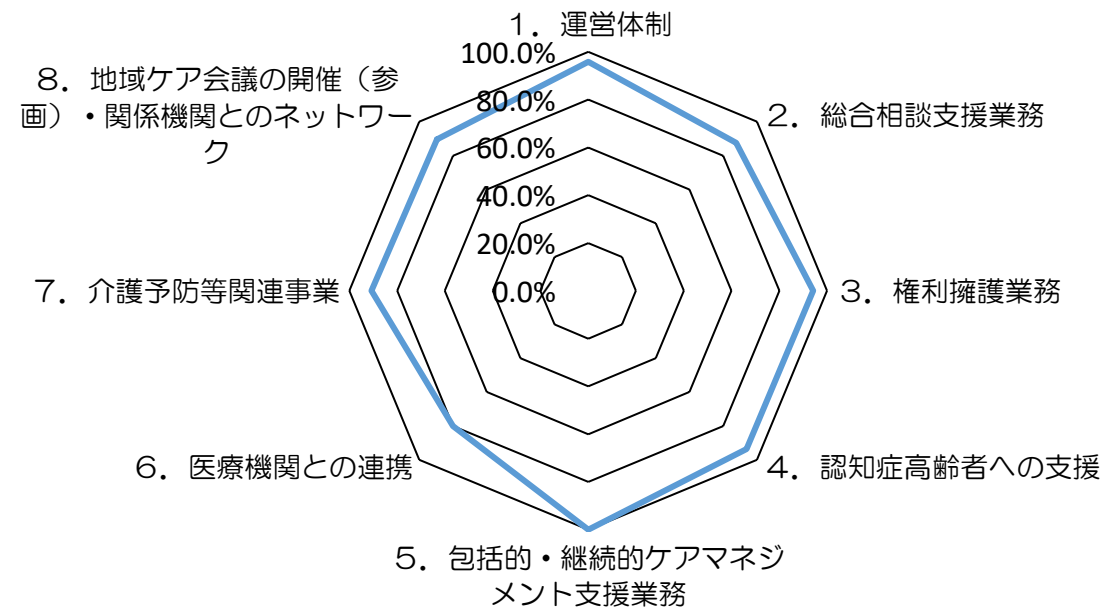
R 3 年度



【市評価】

- ・年度途中で管理者兼社会福祉士が退職し、新たな体制で事業展開することになり、ケアプランを含む日常業務に追われていることが多く見られた。そのような大変な状況であっても、事業の進捗状況やケースの情報などを職員間できちんと共有しており、緊急時の情報提供時にも対応できていた。
- ・コロナ禍による外出制限や不在となった職種の事業展開が滞った点は否めないが、引き続き新たな体制で事業に取り組んでほしい。
- ・職員の入替り等に対応できるような人材育成や各業務のマニュアルなどの整備を進めていきたい。

R 2 年度



【運営協議会評価】

- ・ご苦労様です。良い活動ができていると思います。
- ・概ね評価。
- ・管理者の退職で大変だったと思いますが、経験豊富な職員が揃っていることは強みと思いました。
- ・認知症カフェなどの地域活動を積極的にされていると思いました。
- ・ヨシヅヤまでの送迎サービス事業継続出来る事望まれます。
- ・地域との協力事業が出来て少しずつ進行されていた。
- ・経験豊富な職員の配置の継続により、運営体制において質の向上・維持につながり、担当地区での既存ネットワークとの関係は強く、加えて新たなネットワーク形成に努め、インフォーマルな面でも強化を図って見える点が評価できると思います。
- ・チラシ等の配布に留まらず、地域に出向くことで顔の見える関係の継続が実を結び、体操教室の新規立ち上げが実施できたことも評価したいです。
- ・コロナ禍でも新しい高齢者サロンが立ち上がる等、生活支援体制整備事業も進んでいるように思います。

## 自己評価「0:できていない」及び「1:ほとんどできていない」についての補足説明

羽黒・池野地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
<b>1. 運営体制</b>			
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>			
3職種を常時定数配置している	0	3職種の常時配置ができていないため	3職種の常時配置につとめる
<b>2. 総合相談支援業務</b>			
<b>④防災対応</b>			
本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができています	1	センター独自の防災に関するマニュアルは整備されていないため	行政・医師会が主催する防災に関する研修会に参加し、情報共有を行うようにする
<b>3. 権利擁護業務</b>			
<b>③高齢者虐待への対応</b>			
高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	0	センター独自の高齢者虐待に関するマニュアルは整備されていないため	犬山市が作成したマニュアルに沿って対応していく
<b>6. 医療機関との連携</b>			
<b>①医師・看護師との連携について</b>			
サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	1	医師がサービス担当者会議に参加した実績がないため	医師の参加が必要な場合は、出席の依頼をしていく
<b>7. 介護予防等関連事業</b>			
<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>			
介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	1	担い手づくりに苦慮しているため	既存の担い手からネットワークを広げて、人材育成に取り組む

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

		楽田地区				
		社会福祉法人白寿苑				
		R3		R2		総合自己評価
項目		点数	率	点数	率	
1. 運営体制	48点中	43	89.6%	47	97.9%	運営体制として、保健師が6月から欠員、コロナ感染もあり他職種が実務に入らざるを得ない状況もあり、常時定数配置はできなかった。 欠員中の保健師以外の他職種は5年間包括に在籍しているが、令和3年度はコロナ禍で目立った企画は立案できず、地域にも積極的に向いたり、経験を活かすことができなかった。 防災対応については、何年も地域住民と話し合う事ができていない状況と自己評価したが、令和3年度は地域住民の代表者に声を掛けるなど前進もできた。 権利擁護の虐待対応では、経過を見て終結と判断したが再発したケースもあり、支援者や虐待者へのフォローが不足した。 認知症支援は、認知症初期支援チームが同行し、認知症本人の声を聞くことができた。
2. 総合相談支援業務	48点中	37	77.1%	27	56.3%	
3. 権利擁護業務	69点中	54	78.3%	52	75.4%	
4. 認知症高齢者への支援	48点中	22	45.8%	22	45.8%	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	36点中	22	61.1%	22	61.1%	
6. 医療機関との連携	30点中	19	63.3%	19	63.3%	
7. 介護予防等関連事業	54点中	30	55.6%	30	55.6%	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	27	56.3%	27	56.3%	
合計	381点中	254	66.7%	246	64.6%	

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上

令和3年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		楽田地区		
1. 運営体制		R3	R2	自己評価
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>				保健師が6月から欠員だったため、常時定数配置できなかった。他の職種はH29年から変動していない。事業計画は、中断や時期を変更する事もあったが事業は実施した 相談については、朝の業務予定、夕方の報告を毎日行い、週1回のミーティングでも情報共有し、進捗状況を全職員が把握できるようにしている。
1	3職種を常時定数配置している	0	3	
2	センター内で職務分担を設定し、かつ業務が行われている	3	3	
3	支援困難ケースや緊急性の判断が必要な場合、多様な観点から支援できるよう複数職員が関与している	3	3	
4	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している	3	3	
5	センター内で会議(打ち合わせ・ミーティング)等を計画的に開催し、業務内容等の情報を共有している	3	3	
<b>②中立性・公平性の確保</b>				職員へは、入職時に、中立公正でなければいけないと説明し、高齢者や家族が介護サービスを選択する際には、サービスマップ等を使用し、公平に紹介をしている。 外部への周知等で、センターの名称を使用する際は、市町村事業とわかるように委託事業と記載している。論理要領は、法人内の法令遵守、身体拘束、虐待予防等の研修に参加している。
6	職員が、センターは中立・公正でなければならぬと理解している。	3	3	
7	利用者に対し、市町村事業であることを周知している	3	3	
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している	3	3	
9	職員の倫理要領(またはこれに付随するもの)を定め遵守している	3	3	
<b>③業務改善への取組</b>				毎日朝の業務予定、夕方の報告、週1回のミーティングをおこない、利用者や家族、事業所等からの要望や意見を共有し改善の必要があるか確認している。
10	職員が、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している	3	3	
11	日々の業務における課題・反省点をセンター内職員全員で共有し、改善を図る仕組みを構築している	3	3	
<b>④職員の資質向上</b>				開催される研修は、市内外問わず全て職員に周知し、自己選択のもと参加するようにしていたが、業務都合で参加を見送る事もあった。参加した場合は週1回のミーティングで情報共有し、報告書を回覧している。研修希望を提出することで、研修参加が認められ、法人代表者は職員のスキルアップができるよう環境を作ってもらい、法人内の研修も参加するように心がけている。
12	職員が自ら資質向上のためのセルフチェックをしている	3	3	
13	職員がスキルアップのための研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が配慮している	3	3	
14	市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	1	2	
15	研修で得た知識・情報について、センター内で伝達する機会を設け、職員全員で共有するようにしている	3	3	
16	運営法人またはセンター独自でセンターの業務に資する研修を実施している	3	3	
		16項目 48点中	43	47

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

2. 総合相談支援業務		楽田地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握</b>				可能な限り、民生委員児童委員への定例会への参加や自治会長等と会い地域高齢者の情報収集をおこなない、戸別訪問から介護保険、地域の資源につなげるようにした。 地域の実情としては、地区内で災害や買物に対して困る地域があるため、該当者に現状の課題や改善点などの情報収集をした。
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している	2	1	
2	収集情報に基づく戸別訪問を実施している	2	1	
3	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している	2	1	
4	上記項目以外の、地域の実情に対応した実態把握のための工夫をしている	3	0	
<b>②所在不明高齢者の把握</b>				認知症を疑う場合は、支援者に見守りシール交付事業、徘徊高齢者情報提供サービスを周知した。
5	担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している	2	0	
<b>③相談受付での対応</b>				相談を受ける際は、独自の受付簿を作成し、聞き取りを実施している。 営業時間以外は、携帯電話に転送し、土日祝日も対応している。 高齢者以外の相談は、まず傾聴しその後、適切な機関を紹介している。
6	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている	3	3	
7	多岐にわたる相談をワンストップで受け止めるよう努めている	3	3	
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている	3	3	
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている	3	3	
10	24時間・365日緊急相談体制を含む、緊急的な相談への受付体制ができている	3	3	
11	高齢者以外の相談にも対応している	2	2	
<b>④防災対応</b>				防災や災害については一部の地区を重点的にし、地域住民の代表者に声をかけているが多くの住民と話し合いはできていない。そのため、行政機関等から情報は受けるが包括からの発信は少ない。
12	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している	2	1	
13	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	1	1	
14	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている	1	1	
15	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している	2	1	
<b>⑤福祉・介護用具の相談</b>				介護保険、保険外のレンタルや購入だけでなく、社会福祉協議会の車イス貸与、必要に応じて犬山市の日常生活用具給付事業の紹介や説明をしている。
16	高齢者及びその家族の福祉・介護用具利用についての相談に対応し、周知・紹介・説明を実施している	3	3	
16項目 48点中		37	27	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

3. 権利擁護業務		楽田地区		自己評価
		R3	R2	
<b>①成年後見制度の活用促進</b>				制度については、職員は概ね理解し、支援が必要な方へは社会福祉士が中心となり、他の制度でも対応できるか実施している。 集会場等に訪問した際に、特殊詐欺の注意喚起をし成年後見制度の周知をいている。
1	職員が、成年後見制度について理解している	2	2	
2	申立の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
3	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度に関するPRをしている	2	2	
4	成年後見制度の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	2	
5	成年後見制度の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	2	
<b>②日常生活自立支援事業の活用促進</b>				職員は概ね理解し、誰でも対応でき、相談を受けられるようにしている。 機関との関係づくりはできていると考えるが、日常生活自立支援事業のサービスを利用する方がいなかった。 制度周知はおこない、相談を受けた方は把握している。
6	職員が、日常生活自立支援事業について理解している	2	2	
7	事業利用の相談に対し、支援できる体制を整えている	2	2	
8	地域の高齢者及び関係機関に対し、事業に関するPRをしている	2	1	
9	日常生活自立支援事業の活用に関係する機関との連携や関係づくりが図れている	2	1	
10	日常生活自立支援事業の活用をすすめる観点から、制度利用が必要な地域の高齢者の情報を把握している	2	2	
<b>③高齢者虐待への対応</b>				職員は虐待についての定義、支援、重要性は理解し、市と社会福祉士会で検討し作成したマニュアルと帳票は5地区同じものを使用し、センター内で分かりやすく加工している。 通報を受け、当日に対応し、初動、経過は職員間で共有し市へ報告をしている。
11	職員が、高齢者虐待についての定義を理解している	3	3	
12	職員が、高齢者虐待の対応では虐待者の支援も必要なことについて理解している	3	3	
13	自治体や他機関と連携し、事例に対応できる体制を整えている	2	2	
14	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている	3	3	
15	高齢者虐待に対応するセンター独自のマニュアルを整備している	3	3	
16	自治体から提供された対応フローチャート及び帳票を活用している	3	3	
17	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している	2	2	
18	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している	2	2	
19	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、迅速に対応している	3	3	
<b>④消費者被害の防止</b>				社会福祉士が中心となり、定期的に産業課や犬山警察署から消費者被害の動向を確認し、住民の集いに参加する際には情報提供している。
20	職員が、消費者被害の動向や相談先について理解している	2	2	
21	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている	3	3	
22	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している	3	3	
23	地域の高齢者が被った消費者被害の情報の分析を行って、予防に努めている	2	2	
23項目 69点中		54	52	



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

4. 認知症高齢者への支援		楽田地区		
		R3	R2	自己評価
	<b>①認知症高齢者への理解</b>			
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している	3	2	認知症サポーター養成講座は、地域に住む支援者を対象に実地し、クイズや座談会を交え、認知症の方への支援について意見交換をした。
	<b>②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて</b>			
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している	2	2	市内外のショートステイ、総合病院のレスパイト個所を把握し、必要に応じて紹介ができるようにしている。介護者に対する支援の取組について、近隣の地域包括支援センターと社会福祉協議会へ近況を聞いた。
3	認知症高齢者が徘徊した場合等の対応の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	2	散歩サークルのメンバーに徘徊者を発見したらどうするか対応について協議した。近隣の地域包括支援センターと社会福祉協議会へ近況を聞いた。
4	介護者を支援するレスパイトケアについて、適切な機関を紹介することができる	2	2	
5	上記以外で、介護者に対する支援の取組を実施している	3	0	
6	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している	3	0	認知症初期支援チームとのチーム員会議は毎月参加し、他地区になるが支援方法の意見交換をしている。
7	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組を実施している	2	0	認知症カフェ、家族介護者教室、支援体制の構築はできなかったが、地域の支援者に他地区や他市町の現状等を説明した。
8	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している	2	0	ケアパスの中に認知症本人の声を聞けるよう協力を得た。
9	認知症サポーターを活用した地域支援体制が構築されている	2	0	
	<b>③医療機関との連携について</b>			
10	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している	2	2	ネットワークとしては、医療機関や民生委員から、認知症を疑い、支援が必要と思われる住民についての情報提供を受け、支援を開始している。
11	認知症疾患医療センターと連携をとっている	2	1	認知症疾患医療センターと個別ケースについて直接の連携はほとんどなかったが、会議で認知症疾患医療センターの活動や発信等の情報収集はしている。
12	地域関係者から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	2	2	
13	医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している	2	2	
	<b>④認知症高齢者への権利擁護について</b>			
14	成年後見制度等を利用して本人の利益を守るための支援を実施している	2	2	申立者や家族に成年後見制度で本人の利益を守ると説明した。認知症が原因による
15	認知症高齢者への虐待防止への取組を実施している	2	2	認知症高齢者への支援の際に権利擁護について説明をしている。
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している	3	3	
16項目 48点中		36	22	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		楽田地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携</b>				入退院時等医療機関が行う支援について、介護支援専門員へ必要に応じて説明している。 地域ケア会議や同行訪問の必要性の有無を月に1回書面で確認をしている。 上記のように発信をしているが、理解が得られていない可能性もあり包括から声をかけるようにしている。
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している	2	2	
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている	2	1	
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している	3	3	
<b>②介護支援専門員に対する個別支援(相談)</b>				初回、更新、サービス追加時に必要な場合は助言をしている。 地区内の居宅介護支援事業所の人数や加算等はある程度把握している。 相談しやすく、問題解決能力を高めるために、相談時は真摯に受け止め、指示出しだけでなく同行訪問、経過を確認している。
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプランの作成指導や助言等を実施している	2	2	
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している	2	2	
6	担当圏域の介護支援専門員の問題解決能力を高める支援を実施している	2	2	
7	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している	2	2	
8	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、指導及び問題解決のための協力を実施している	2	2	
9	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている	2	2	
<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>				5包括の主任介護支援専門員で研修会(書面)を開催した 開催した研修会は、介護支援専門員からの反応が少なく希望やニーズに沿えなかった。
10	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的で開催している	2	2	
11	上記研修会や事例検討会を通して、担当圏域の介護支援専門員同士のネットワーク構築を支援している	2	1	
12	介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	0	1	
12項目 36点中		23	22	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

6. 医療機関との連携		楽田地区		自己評価
		R3	R2	
	①医師・看護師との連携について			担当患者として診ている医師、看護師は気兼ねなく相談に乗って頂ける。 訪問看護を利用している方のサービス担当者会議には看護師が参加している。 サービス担当者会議や地域ケア会議に医師や看護師が参加することはなかったが、書面や往診の際などに助言を頂いていた。
1	支援を必要としている方のことを相談できる医師がいる	2	2	
2	支援を必要としている方のことを相談できる看護師がいる	2	2	
3	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師が参加している	2	1	
4	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する看護師が参加している	2	2	
	②医師会・医療機関との連携について			連携室、ソーシャルワーカーとは関わりのある高齢者が入院、退院する際には情報共有している。
5	地域の医療機関と連携体制が構築されている	2	2	
6	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れている	2	2	
7	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
	③在宅医療との連携について			在宅医療を中心とする医療機関は、必要な時に相談をしている。 看取りの支援については、介護支援専門員と共に実施している。
8	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
9	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている	2	2	
10	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている	2	2	
10項目 30点中		20	19	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

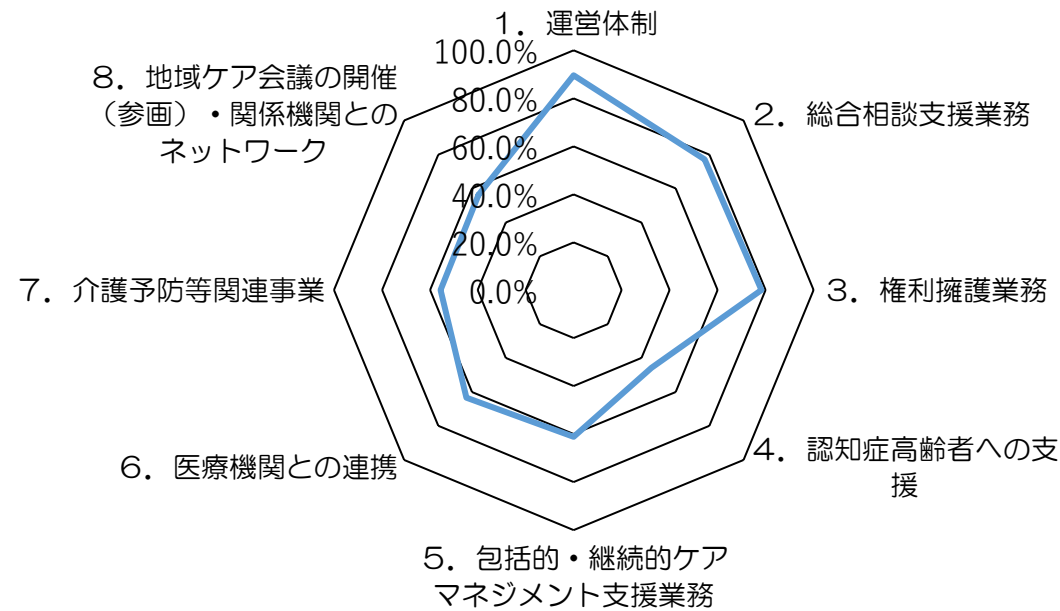
7. 介護予防等関連事業		楽田地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勸奨</b>				世帯訪問を実施しながら、生活身体状況を聞き取り、周知するように心がけている。モニタリング、効果の測定まではできていないため、介護予防や他の事業の内容まで検討できなかった。
1	さまざまな機会を捉えて、介護予防事業対象者の把握を実施している	2	2	
2	介護予防事業対象者の生活状況や身体状況を把握している	2	2	
3	住民に対し、介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している	2	2	
4	介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	0	1	
5	実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	0	1	
<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>				対象者自身が、予防の目的を自覚できるように声をかけ、実施している。
6	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している	2	2	
<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>				介護予防ケアプランの作成手順は、適切で滞ることなく実施し、本人と家族で一緒になって目標を立てている。振り返りについては、定期的ではないが週1回のミーティングの際に実施している。
7	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している	2	2	
8	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している	2	2	
9	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的実施している	2	2	
<b>④地域の介護予防活動の支援</b>				介護予防等の支援につながるよう可能な範囲で、地域で活動している団体へ定期的に出向き、取組み状況や相談事を聞き取り、助言をしている。
10	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している	2	2	
11	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している	2	2	
<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>				人材育成をするにあたり、声をかけ進めるが一進一退の状況が続き、住民が独立した支援者になるまで育成はできていない。
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる	2	2	
13	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している	2	2	
<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>				介護予防教室はコロナと職員の欠員により、当初の予定回数を実施することができず途中で中断した。そのため、フォローアップも一部できなかった。
14	介護予防の趣旨(6つの柱)をセンターの職員が理解している	2	2	
15	介護予防教室を実施している	2	0	
16	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	1	0	
<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>				住民主体の地域サロンに出向く回数は例年より少なく、滞在時間も限られた中での活動だったため、実施しても早期介入につなげる仕組みの構築はできなかったが、チェックリストを実施した場合、その場で該当した項目について説明し、医療介護のサービス等の提案をしている。
17	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	3	3	
18	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	3	1	
18項目 54点中		33	30	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		楽田地区		
		R3	R2	自己評価
<b>①地域ケア会議の開催(参画)</b>				地域ケア会議は包括職員が関わっているケースで、地域住民や居宅介護支援事業所から依頼での開催はできなかった。 会議回数が少なく、目標や方向性は会議前後しかできなかった。 会議の有無や参加については毎月周知をしている。
1	地域ケア会議を開催している	3	0	
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している	2	1	
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している	2	2	
4	必要時、他地域が開催する地域ケア会議等に参画している	2	2	
<b>②地域特性の把握</b>				高齢者が多い町内等は把握するように意識しているが担当地区すべての町内を把握はできていない。
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している	2	2	
<b>③担当圏域全体との関係づくり</b>				周知のため包括独自の広報を二ヶ月に1回配布している。 担当圏域の催事は、中止していることが多いことや感染対策で自粛していたため参加は少ない。
6	担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している	3	3	
7	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	1	1	
8	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	営業時間以外でも電話を頂ければ、転送で当番職員に24時間連絡がつくように説明している。
9	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)	3	3	
<b>④地域アセスメント</b>				協議体は、緊急事態宣言やまん延防止もあり、定期的な開催はできなかったが、オンライン開催や協議体メンバーと電話や1対1で会い、地域活動の連携を行った。
10	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している	2	2	
11	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している	2	2	
<b>⑤地域における関係機関とのネットワーク</b>				不足している地域のニーズを把握し、情報提供や意見交換をおこないながら地域住民と共に少しずつ活動をしている。
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している	2	2	
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している	2	2	
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している	2	2	
<b>⑥関係機関とのネットワークの状況(目的・内容)について</b>				ネットワークについては、地域住民主体になっている団体等に対して働きかけ、機能や役割を整理していく。
15	担当地域に既存のネットワークがある	3	0	
16	担当地域で構築中のネットワークがある	3	0	
16項目 48点中		37	27	

楽田地区

R3年度



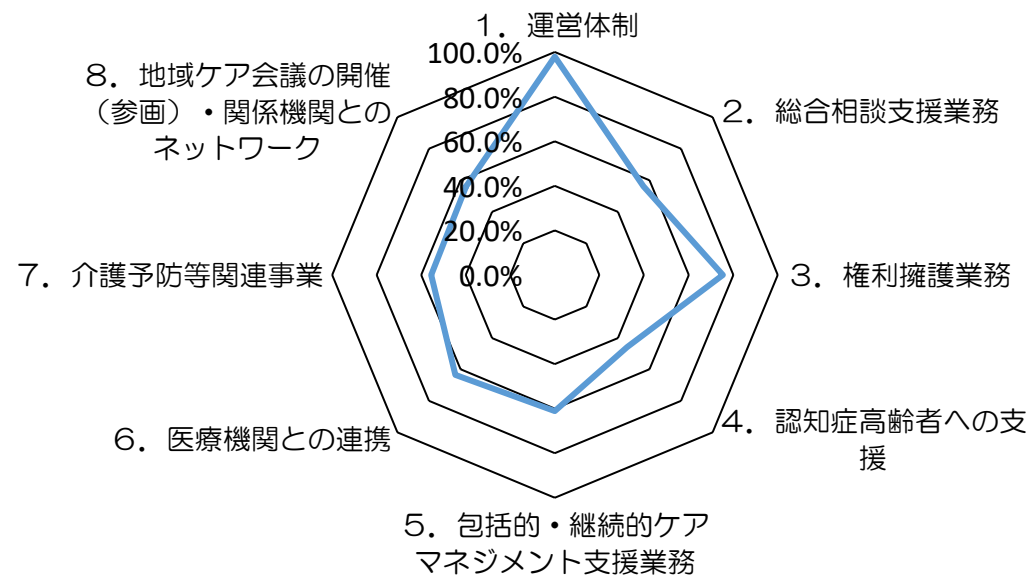
【市評価】

- ・年度途中から保健師が欠員状態であったことやコロナ禍により活動に制限がかかる中、在籍する職員で可能な方法を模索しながら事業に取り組んでくれた。
- ・職員間での情報共有が不十分なことが多々見受けられたため、職員間で事業の進捗状況の報告や相談をしながら、事業展開ができると良いと思われる。
- ・虐待ケースに関しては、虐待認知が繰り返される事例があるが、対応困難ケースでもあるため、市を含めた関係機関と連携しながら、対応策を随時検討して行けると良い。
- ・委託当初からの職員が最も多い地区で、住民との関係も良好な点は評価する。
- ・保健師が主体となる介護予防や医療介護連携は、地域包括ケアシステムの構築には欠かせないことから、早急な保健師の配置を求める。

【運営協議会評価】

- ・ご苦労様です。良い活動ができていると思います。
- ・概ね評価。
- ・防災や買い物支援の取り組みは、地域とのつながりがより必要だと思えます。
- ・住民との関係が良好とのことですので、地道でも継続した活動を期待します。
- ・重点地区を設定した取り組みはいいと思います。
- ・情報共有は大切であるので、今後可能をお願いします。
- ・人員不足の中、各職員がおぎない対応されていた。
- ・欠員にて本来の地域包括システムの構築が困難の中、地域住民同士のつながりを強化するために、あらゆるコミュニティを利用し、働きかけている点が評価できると思います。
- ・医療機関との連携も気兼ねなく実施できている点も、委託当初からの職員が最も多い地区の強みではないかと思いました。
- ・長期欠員状態のため、保健師の補充が進むと良いと思います。
- ・オーラルフレイルから全身的機能の低下が始まると言われていますので、口腔機能向上プログラムの実施が0件で記載されています。次年度に向けてぜひ開催・企画できるようお願いしたいかと思います。

R2年度



自己評価「0:できていない」及び「1:ほとんどできていない」についての補足説明

楽田地区	自己評価	評価した理由	今後の対策
<b>1. 運営体制</b>			
<b>①3職種の配置及び職員の職務分担と連携</b>			
3職種を常時定数配置している	0	保健師等が退職し、6月から欠員のため。	引き続き、求人をかけ常時定数配置できるようにする。他の職種も欠員にならないよう業務が偏らないようにする。
<b>④職員の資質向上</b>			
市町村や都道府県、国の主催する職員向け研修には、積極的に参加している	1	開催される研修は、市内外問わず職員に周知し、自己選択のもと参加するようにしていたが業務都合で参加を見送る事もあったため。	参加者が市外の方が多く、で集合型でグループワークを実施する研修は参加せず、オンライン開催の場合は参加する。
<b>2. 総合相談支援業務</b>			
<b>④防災対応</b>			
災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している	1	防災や災害については一部の地区を重点にし、地域住民の代表者に声をかけているが多くの住民と話し合いはできていない。そのため、行政機関等から情報は受けるが包括からの発信は少ない。	R3年度は地区を絞り、住民の代表者を重点的に声をかえていたため、今後は広げていく。その際には行政機関等からの受けた情報を発信していく
本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができています	1		
<b>5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>			
<b>③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援</b>			
介護支援専門員の資質向上のための目標や方向性を明確に設定し、研修会や事例検討会の内容を定めている	0	5包括の主任介護支援専門員で研修会(書面)を開催した。開催した研修会は、介護支援専門員からの反応が少なく希望やニーズに沿えなかった。	研修は事前に介護支援専門員に対して質問書を送るが、返答がない場合も多いため内容を精査する。
<b>7. 介護予防等関連事業</b>			
<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勧奨</b>			
介護予防事業参加者に対するモニタリングを実施し、効果の測定等を実施している	0	モニタリング、効果の測定まではできていないため、介護予防や他の事業の内容まで検討できなかった。	モニタリングや効果の測定の際に介護予防運動指導員等に助言を頂き、介護予防事業や他の事業の内容を検討していく。
実施した効果の測定等に基づき、介護予防事業や他の事業の内容を検討している	0		
<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>			
介護予防教室終了後のフォローアップを実施している	1	コロナ禍で介護予防教室を中断し、フォローアップも一部できなかった。	今年度も例年通り開催予定としているが、コロナ感染等で中止せざるを得ない時は経過を確認し、その後のフォローアップをおこなう。
<b>8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク</b>			
<b>③担当圏域全体との関係づくり</b>			
担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えてセンターのPRを行っている	1	担当圏域の催事は、中止していることが多いことや感染対策で自粛していたため参加は少ない。	今年度はできるだけ参加するように心掛ける。

令和4年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト(案)

		地区		総合自己評価
		R4		
項目		点数	率	
1. 運営体制	54点中	0	0.0%	
2. 総合相談支援業務	39点中	0	0.0%	
3. 権利擁護業務	33点中	0	0.0%	
4. 認知症高齢者への支援	48点中	0	0.0%	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	33点中	0	0.0%	
6. 医療機関との連携	24点中	0	0.0%	
7. 介護予防等関連事業	48点中	0	0.0%	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク	48点中	0	0.0%	
合計	327点中	0	0.0%	

※できている(ある):3点 ある程度できている:2点 ほとんどできていない:1点 できていない(ない):0点として計上

- 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金評価指標に関する項目
- 地域包括支援センター運営状況調査票に関する項目



令和4年度 犬山市高齢者あんしん相談センター 事業自己評価チェックリスト(案)

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
1. 組織・運営体制		R4	自己評価
	<b>①事業の適切な運営のための体制構築</b>		
1	当該年度の事業計画を策定し、それに基づき計画的な事業運営を実施している		
2	市と連携・相談しながらセンターの業務改善を図り、利用者や家族からの要望・意見を聞き、必要に応じてセンターの運営に反映している		
3	市とセンターの定期的な連絡会に毎回出席している		
	<b>②担当圏域の現状・ニーズに応じた取組</b>		
4	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定している		
	<b>③職員の確保・育成</b>		
5	3職種と地域づくり担当を常時定数配置している		
6	職員が職場での仕事を離れてのOJT研修にできるだけ参加できるよう、法人代表者(もしくは所長、管理者)が実施している		
	<b>④中立性・公平性の確保</b>		
7	職員が、センターは中立・公正でなければならないと理解している。		
8	個別支援にあたり、保健・医療・福祉サービスが特定事業者に不当に偏らないよう、また利用者を不当に誘導しないよう配慮している		
	<b>⑤利用者が相談しやすい相談体制の構築</b>		
9	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)		
10	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、住民に周知している(緊急連絡先の設定・電話の転送・パンフレット等)		
11	パンフレットの配布など、センターの周知を行っている		
	<b>⑥個人情報の保護</b>		
12	市または法人の個人情報保護に関する取扱い方針に従って運用されている		
13	個人情報漏洩した場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員に周知している		
14	個人情報の保護に関する責任者(常勤)を配置している		
15	個人情報の持ち出し・開示時は、管理簿への記載と確認を行っている		
	<b>⑦利用者満足の向上</b>		
16	苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録している		
17	介護サービスに関する相談について、市に報告している		
18	相談者のプライバシーが確保される環境を整備している		
		18項目 54点中	0

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
2. 総合相談支援業務		R4	自己評価
	①地域における潜在的な利用者(支援を必要としている高齢者)の実態把握		
1	地域活動(民生委員児童委員の定例会や町内関係の会合、その他地域行事等)へ参加して、地域高齢者の情報収集を実施している		
2	戸別訪問した高齢者を必要に応じて他の地域資源やサービス等につなげる働きかけを実施している		
	②地域における関係機関・関係者のネットワーク構築		
3	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をリスト等で管理している		
	③家族介護者や複合的な課題を持つ世帯等への支援の推進		
4	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残してとりまとめている		
5	介護、子育て、障がい等、複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っている		
	③所在不明高齢者の把握		
6	担当圏域内において所在不明高齢者の存在を明らかにするための活動を実施している		
	③相談受付での対応		
7	適切な機関を紹介できる相談体制を整えている		
8	相談受付から支援に至るまで、センター内で定めたルールに基づき適切な対応に努めている		
9	総合相談の内容分析を行い、傾向の把握及び対応策の検討に努めている		
	④防災対応		
10	高齢者に対し、訪問の機会等に防災対策について啓発を実施している		
11	災害時の対応等防災対応について、地域住民との話し合いを実施している		
12	本センター・消防・警察・行政機関との連携体制の構築や情報共有ができている		
13	担当圏域の防災体制の情報収集を実施している		
		13項目 39点中	0

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
3. 権利擁護業務		R4	自己評価
	①成年後見制度の活用促進		
1	地域の高齢者及び関係機関に対し、制度や対応窓口に関する周知をしている		
	②日常生活自立支援事業の活用促進		
2	地域の高齢者及び関係機関に対し、必要に応じて事業に関する周知をしている		
	③高齢者虐待防止への体制整備		
3	地域の高齢者、当事者家族及び関係機関等に高齢者虐待に関する啓発を実施している		
4	地域の関係機関等と、虐待防止及び日常の見守りや声かけ、支援等が有機的に行われるようなネットワークを構築している		
5	通報を受けた初動期段階の対応について、その重要性を認識し、市と情報共有しながら迅速に対応している		
6	高齢者虐待対応については市と包括で作成した対応フローチャート及び帳票を活用し、事例の情報は市とタイムリーに情報共有している		
7	高齢者虐待対応については、複数職員で関わりセンター全体で情報を共有する体制を整えている		
8	終結した虐待事案の事後検証を行っている		
	④消費者被害の防止		
9	消費生活センターや警察等の他機関と連携して事例に対応できる体制を整えている		
10	地域の高齢者及び関係機関に消費者被害に関する啓発を実施している		
11	消費者被害に関する情報を民生委員児童委員や介護支援専門員、ホームヘルパー等へ情報提供している		
11項目 33点中		0	

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
4. 認知症総合支援業務		R4	自己評価
	①認知症高齢者への理解		
1	地域住民に対して、認知症高齢者の理解のための啓発活動を実施している		
	②認知症高齢者やその家族を地域の中で支える仕組みについて		
2	認知症高齢者を地域の中で支える見守りの仕組み(ネットワーク)を構築している		
3	認知症初期支援集中チームと支援事例について、情報提供・具体的な支援方法の検討等を定期的実施している		
4	認知症カフェの設置、運営の推進に向けての取組みを実施している		
5	本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援を実施している		
6	認知症当事者の声を踏まえながら、認知症の理解促進に関する参加型のイベントや講演会等の普及啓発を行っている		
7	認知症ステップアップ講座を実施している		
8	認知症ステップアップ講座を終了した認知症サポーターによる支援チーム等の活動グループを設置している		
9	上記の支援チームを介して、認知症の人やその家族のニーズに合った具体的な支援につながるよう、地域の担い手とのマッチングを行っている		
10	認知症の人が希望に応じて、地域活動等に参画できるよう支援している		
	③医療機関との連携について		
11	認知症高齢者を支援するために、医療機関との連携の仕組み(ネットワーク)を構築している		
12	認知症疾患医療センターと連携をとっている		
13	地域関係者や医療機関から認知症と思われる高齢者に関する相談を受けているケースがあり、継続的に支援している		
	④認知症高齢者への権利擁護について		
14	成年後見制度等を活用して本人の利益を守るための支援を実施している		
15	認知症高齢者への虐待防止への取組みを実施している		
16	上記以外で、認知症高齢者の権利擁護に関して活動を実施している		
		16項目 48点中	0

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		R4	自己評価
	①利用者の状態に応じた医療機関等関係機関との連携		
1	利用者の入退院時等医療機関と地域の介護支援専門員とが連携できる仕組みを構築している		
2	関係機関に対し、サービス担当者会議及び地域ケア会議等への出席について理解が得られるよう働きかけている		
3	地域の介護支援専門員と関係機関との連携について独自の取り組みを実施している		
	②介護支援専門員に対する個別支援(相談)		
4	担当圏域の介護支援専門員に対して、ケアプラン作成の指導や相談等を実施している		
5	担当圏域の介護支援専門員の体制(事業所数や特色等)を把握している		
6	担当圏域の介護支援専門員が相談しやすい関係づくりのための取り組みを積極的に実施している		
7	支援困難事例を抱える介護支援専門員を把握し、相談及び問題解決のための協力をしている		
8	居宅介護支援事業所に対し、個別支援の重要性について理解が得られるよう働きかけている		
	③介護支援専門員を対象にした研修会等の実施による支援		
9	センター単独または複数センターが合同で、介護支援専門員を対象とした各種研修会や事例検討会を定期的開催している		
10	介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や個別事例を検討する地域ケア会議等を開催している		
11	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関との情報交換の場を設けている		
		11項目 33点中	0

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区		
6. 医療機関との連携		R4	自己評価	
	①医師会・医療機関との連携について			
1	地域医療連携室や医療機関のソーシャルワーカー等と連携が取れており、必要時に相談や情報共有ができています			
2	緊急時における医療機関との連携体制が構築されている			
3	医療関係者と合同の事例検討会に参加している			
4	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加している			
5	サービス担当者会議や地域ケア会議に、関係する医師や看護師、ソーシャルワーカー等が参加している			
	②在宅医療との連携について			
6	在宅医療と実施する医療機関との連携体制が構築されている			
7	退院支援を図る医療機関との連携体制が構築されている			
8	自宅での看取りについて関係医療機関の医師・看護師と連携を図っている			
		8項目 24点中		0

3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

		地区	
7. 介護予防等関連事業		R4	自己評価
	<b>①介護予防事業対象者の把握・生活機能評価実施勧奨</b>		
1	KDBデータ等の介護予防におけるデータを活用し、地区の特性把握や課題の分析を行っている		
2	介護予防事業施策の啓発や周知等に関する独自の取り組みを実施している		
3	通いの場の参加者の生活状況・身体状況を継続的に把握している		
4	通いの場の参加者の健康状態について、経年的な評価や分析を行っている		
	<b>②介護予防の目的を意識した介護予防事業対象者ケアマネジメントの実施</b>		
5	介護予防事業対象者に対して、介護予防の目的を意識したケアマネジメントを実施している		
	<b>③効果的・効率的なケアマネジメント実施</b>		
6	介護予防ケアプランの作成等の手順は適切であり、滞ることなく業務を実施している		
7	介護予防ケアプランの内容は、本人の自立を支援する目的に沿ったものを作成している		
8	ケアマネジメント業務の向上につながるよう、センター内で当該業務の振り返りを定期的実施している		
	<b>④地域の介護予防活動の支援</b>		
9	介護予防事業対象教室以外の地域での介護予防の取組みについて普及啓発を実施している		
10	センター独自で地域の介護予防組織の育成・支援を実施している		
	<b>⑤介護予防組織及び人材の育成支援</b>		
11	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の育成に取り組んでいる		
12	介護予防事業及び地域包括ケア構築事業等に関わる人材の活動の自立性を高めるための取り組みを実施している		
	<b>⑥介護予防事業(介護予防教室)の実施</b>		
13	介護予防教室を実施している		
14	介護予防教室終了後のフォローアップを実施している		
	<b>⑦介護予防と保健事業の一体的実施</b>		
15	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している		
16	通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて、医療機関等による早期介入(個別支援)につなげている		
		16項目 48点中	0



3. できている(ある) 2. ある程度できている 1. ほとんどできていない 0. できていない(ない)

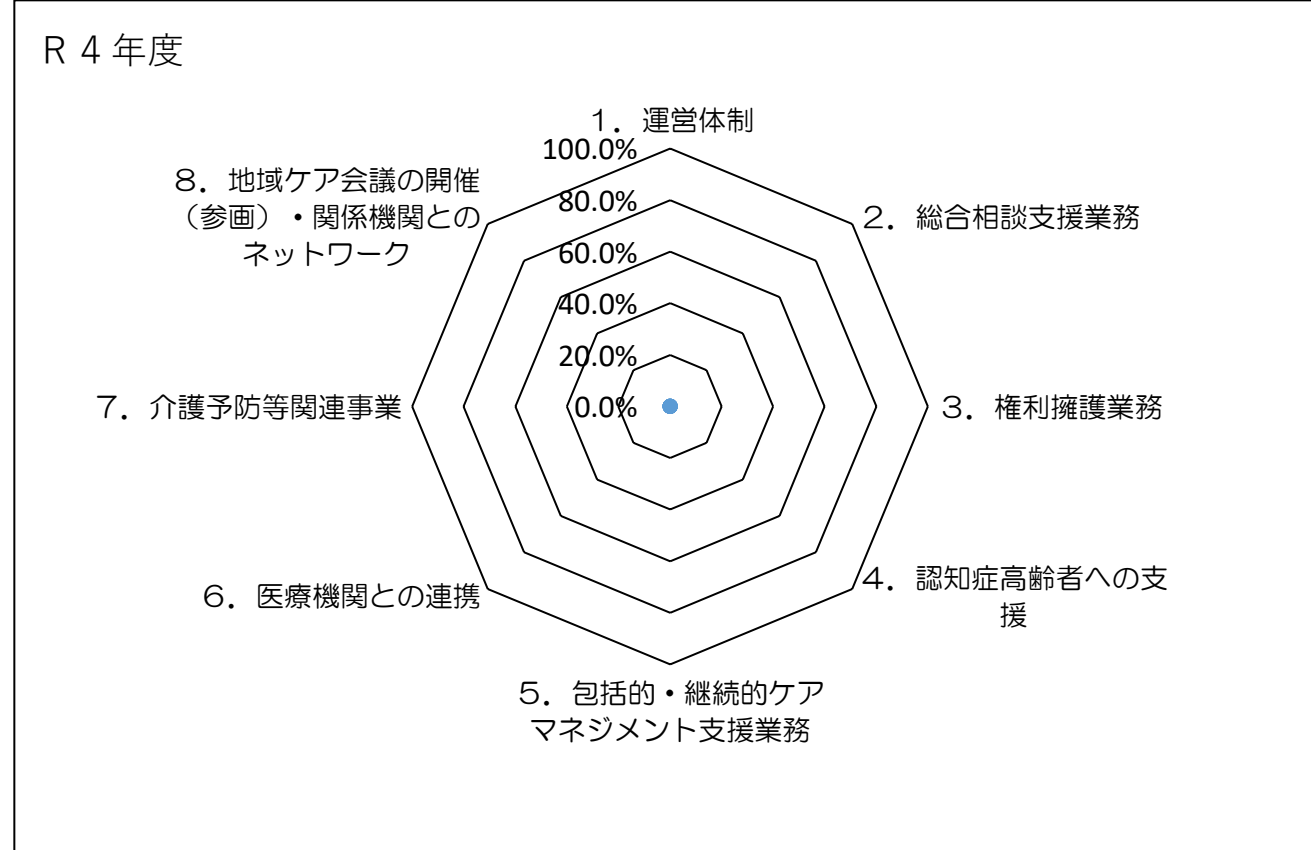
		地区	
8. 地域ケア会議の開催(参画)・関係機関とのネットワーク		R4	自己評価
	①地域ケア会議の開催(参画)		
1	地域ケア会議を開催している		
2	地域ケア会議の今後の目標や方向性をセンター内で検討し設定している		
3	担当圏域の関係機関へ地域ケア会議について周知している		
4	生活支援コーディネーターが地域ケア会議に参画している		
	②地域特性の把握		
5	担当地域の地域特性(人口、高齢化率、その他統計情報や地域の産業形態、住宅事情等)を把握している		
	③担当圏域全体との関係づくり		
6	担当圏域の催事に参加するなど、機会を積極的に捉えて、担当圏域全体へセンターの周知を継続的に実施している		
	④地域アセスメント		
7	地域課題や地域住民の意向を把握する活動を実施している		
8	地域課題や地域住民の意向の分析を実施している		
9	個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域課題を明らかにし、対応について検討している		
10	地域づくり・資源開発等の地域課題に関して検討している		
11	多職種と連携して、自立支援・重症化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じている		
	⑤地域における関係機関とのネットワーク		
12	ネットワークの必要性について、地域の関係機関や住民に対し働きかける活動を実施している		
13	地域の社会資源(インフォーマルサービスを含む)の把握および機能や役割を整理している		
14	地域に不足する社会資源を地域ニーズに応じて改善または発掘・創生するための取り組みを実施している		
	⑥家族等の介護離職防止について		
15	担当地域で、家族等の介護離職防止に向けた相談ができることを周知し、相談に対応している		
16	担当地域で、専門職・関係機関と連携した取り組みを実施している		

16項目 48点中

0



地区



【市評価】

【運営協議会評価】

## ご意見

- 市を含めた全体的な活動についてご意見をお聞かせください。

- ・全体的に良い活動ができていると思います。
- ・今の現状に満足せず、今後も頑張りましょう。
- ・高齢者の移動手段の拡充を検討。
- ・口腔機能の向上については、各地区で良く実施されている。
- ・地域包括支援センターの日常活動は必要不可欠になった。
- ・専門職確保について、市が応援してほしい。
- ・認知症高齢者への初期集中支援活動の取組を更に期待したい。
- ・コロナ禍 2 年目で活動自粛がある中、各地域包括支援センターは前年より活動を広げられており努力されていると思います。
- ・認知症高齢者への支援など、年々業務量が増えていくと思われまので、大変と思いますが、行政には人員確保の支援をお願いしたいと思います。
- ・全体的に「運営体制」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」に集中して評価点が前年度より下回っている印象でした。
- ・既存職員にて人員不足と補い、その中でも新たな活動や全身で来ている事業があることは評価できると思います。そうした環境下の中職員間での情報共有は更に徹底され、他機関との連携強化を図ることをいずれのセンターも実施できていると感じました。
- ・権利擁護に関しては、周知・啓発が行えても活用まで至らなかつたり、コロナ禍の中予防の取り組みにくさがあることも感じました。
- ・訪問や事業の自粛を迫られる中、多方面で苦慮されてみえることと思いますが、高齢者があんしんして相談できる場として引き続き、質の向上・維持に努めて頂けたらと思います。
- ・団塊の世代が全て後期高齢者になる 2025 年、犬山市においても例外ではなく、高齢化率のスピードが非常に早まってきている状況です。老々介護、認知症患者の増加にて、医療・介護難民が生じる事の無いよう、ACP も含めて適切な事業展開を望みたいと思います。

## 会議録

1 附属機関の名称

犬山市地域包括支援センター運営協議会

2 開催日時

令和4年10月17日（月） 午後1時30分から2時30分まで

3 開催場所

市役所 5階 501・502委員会室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

杉浦 隆	委員（犬山扶桑歯科医師会）
鈴木 康元	委員（愛知県江南保健所）
紀藤 秀夫	委員（犬山市民生委員児童委員協議会）
宮島 まち子	委員（犬山市介護認定審査会委員 保健師）
安藤 清美	委員（犬山市介護サービス事業者協議会ケアマネ部会）
柳 好	委員（犬山市社会福祉協議会）
長岩 嘉文	委員（日本福祉大学中央福祉専門学校）
河村 政徳	委員（一般社団法人和顔の輪）

(2) 事務局

健康福祉部	部長	高木 衛
健康福祉部高齢者支援課	課長	上原 敬正
	課長補佐	粥川 仁也
	主任主査	森川 悦子

(3) 地域包括支援センター

犬山北地区	渡辺 ゆかり
犬山南地区	糸井川 三保子
城東地区	長洞 有佳子
羽黒・池野地区	細川 早苗
楽田地区	舟橋 弘達

5 書面で意見を提出した者の氏名

(1) 委員

桑原 生秀 委員（尾北医師会犬山支部）

## 6 議題

- (1) 令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業収支報告について（資料1）
- (2) 令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業実績報告及び自己評価について（資料2・資料3-1～3-5）
- (3) 令和4年度犬山市高齢者あんしん相談センター自己評価（案）について（資料4）
- (4) その他

## 7 傍聴人の数

0人

## 8 内容

事務局 (上原課長)	<p>皆さん、こんにちは。定刻より若干早い時間ではございますが、皆様お揃いですので、只今より令和4年度第1回犬山市地域包括支援センター運営協議会を開催させていただきます。</p> <p>皆様には、お忙しいところ、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本会議は犬山市の地域包括支援センターの公平中立な運営について協議する場として設置されています。今回、井戸委員のご退職による委員の変更があり、新たに柳好委員に委嘱させていただきました。どうぞよろしく願います。</p>
柳委員	<p>よろしく願います。</p>
事務局 (上原課長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>委嘱状につきましては、市長から伝達させていただくのが本意ではございますが、今回は事前にお渡しさせていただきましたので、ご了承の程よろしく願います。</p> <p>また、この会議は、犬山市附属機関の会議の開催に関する要綱に基づき、傍聴希望者に公開いたしております。本日の傍聴者は0人です。また、当会議の議事録は市ホームページ上で公開いたします。公開にあたり、委員2名以上の署名が必要ですので、後ほど会長より指名させていただきますので、ご承知おきください。</p> <p>協議に先立ちまして、事前に配付しました資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配付資料の確認)</p> <p>資料につきましては事前に配付させていただいております。不足等ございましたらお申し出ください。</p>

杉浦副会長	<p>今後の議事につきましては、協議会規則の第4条第2項によりまして、会長が議長となりますが、本日、会長につきましては、急患対応がございまして、本日欠席、もしくは遅刻ということでございます。</p> <p>この規則の第3条第4項に「副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。」となっておりますので、副会長の杉浦委員に本日の議事進行をよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本日は、本当に委員の皆様、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は高木委員から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それから今、ご案内がありましたが、桑原会長の方から、急患の対応で遅刻もしくは欠席ということになっております。よって8名の委員の皆様の出席をいただいております、犬山市地域包括支援センター運営協議会設置規則第4条第3項に規定する会議開催の要件を満たしておりますので、本日の委員会が成立することをご報告申し上げます。</p> <p>なお本日は午後2時30分を終了予定としておりますので、円滑な進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それからまず、議事録の署名ですが、昨年度の第1回目は、桑原会長、杉浦副会長、2回目は、高木委員、河村委員にご署名をいただきましたので、今回の議事録については、鈴木委員、紀藤委員に、ホームページ掲載前にご確認いただき、公開させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	(意見なし)
杉浦副会長	<p>ご異議なければそのようにさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは鈴木委員、紀藤委員、よろしくお願いいたします。</p>
鈴木委員 紀藤委員	(同意)
杉浦副会長	<p>それでは次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>本日の協議報告事項、(1)令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業収支報告について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局 (森川)	(資料1の説明)
杉浦副会長	はい。ありがとうございます。

<p>事務局 (森川)</p>	<p>それでは引き続き、報告事項(2)令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業実績報告及び令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業自己評価について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>はい。よろしく申し上げます。</p> <p>まず、高齢者あんしん相談センターよりご報告させていただくにあたり、令和2年度に引き続きまして、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応において、国や県、市の方針により、センターの活動に影響があったことをまず初めにお伝えさせていただきます。</p> <p>コロナの影響による各法人の意向を伺いながら、市の方針とも調整し、随時方針を決めてきました。</p> <p>それにより、通常の活動が困難になったり、活動自体ができなくなったことをご承知いただきながら、報告をお聞きいただきたいと思います。</p> <p>それでは、事業実績報告につきまして、資料2と資料3をご覧になりながら、各地区の高齢者あんしん相談センター職員より説明の方をさせていただきます。</p> <p>犬山北地区から順番に説明をお願いいたします。</p>
<p>犬山北地区 (渡辺)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制について 4職種の欠員にあたって、生活支援コーディネーターが1月から産休に入っており欠員している。各職員が公平中立を理解し、業務を行っている。また、毎朝のミーティングで各職種の情報共有を行い、現在の担当者とともに包括職員で話し合うことができた。</li> <li>・総合相談について 計画にあった基本情報シートの記入と支援経過の入力を随時行った。市役所や民生委員との情報共有を行い、報告をいただいた利用者様には早い対応を心がけ、訪問した内容を報告してきた。</li> <li>・権利擁護業務について 社会福祉士が包括全体での勉強会を開催し、知識を得て成年後見制度などの説明などの必要な方への支援を行い、行政書士さんなどとの連携もとれている。消費者被害が発生しないように、啓発活動でチラシの配布を随時行っている。</li> <li>・認知症支援について 認知症サポーター養成講座を地域サロンにて2回行っている。チームオレンジも南包括とエリアがかぶるコミュニティの方たちと何回かコースで始め、ステップアップ講座も行っている。認知症カフェの開催は、事業所がある商業施設の会議室を借り、少人数開催を定期的に行うことが現在もできている。</li> <li>・介護支援専門員への個別支援について 地域ケア会議の開催を4回行い、権利擁護の関係が多い。ケアマネとの勉</li> </ul>

<p>犬山南地区 (糸井川)</p>	<p>強会を事例検討会のように、北地区内の居宅介護支援事業所の方と少人数で行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携の評価について 近隣の医療機関の医師に迅速に相談ができている。病院などのソーシャルワーカーとの連携もとっている。</li> <li>・介護予防普及啓発事業について 健康相談、介護予防教室をヨシヅヤ内で年に数回、包括職員で行うことができた。地域サロンの時期ごとに健康についての内容を変えて、チラシの作成を行い、啓発を行っている。</li> <li>・介護予防活動支援事業について 包括主催の体操は先生を招き、6回コースで開催でき、現在自主化できている。既存の体操教室を5か所自主化しているので、現在は短時間の参加を定期的に行うことができた。</li> <li>・地域住民と民間事業所とのネットワーク構築について 民生委員の定例会の参加を行い、10月から4回に分けて民生委員の交流会を商業施設内の会議室にて、権利擁護の勉強会を行ってきた。</li> <li>・生活支援体制整備事業について 資源マップの更新作成を行い、協議体は令和3年度は数回行い、地域の支え合い活動を始めたい地域の方たちから、支え合いを行っている地域に視察に行きたいと要望があり、支え合いを行っている地区への視察に行き、担い手がまだ見つからないなどの問題と本当の課題などがはっきり見えていないので、まだ実現できていない状態です。便利マップの情報収集を現在も行い、次年度に作成できるよう話し合いをしている。</li> </ul> <p>昨年同様コロナウイルスの感染拡大防止の措置により、活動が制限された1年だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置について 地域づくりが欠員となり、半年ほど欠員のままの活動となった。また、保健師が産休となり、交代した保健師が業務することになったが、人数が少ない中、初回訪問や困難事例に関しては、2名体制での訪問を実施することができた。また、センター内で情報共有をしっかりと行い、担当者が不在でも対応することができた。</li> <li>・総合相談業務について 民生委員の定例会に毎月参加し、民生委員からの地域の情報収集や独居高齢者の把握に努めるとともに、民生委員からの相談に対して迅速に対応をすることができた。また、コロナ禍ではあったが、75歳を迎える家庭の世帯訪問を実施し、あんしん相談センターの周知や地域の集いの場のマップの情報提供を行うことができ、200件ほどまわることができた。</li> <li>・権利擁護業務について コロナ禍で認知症に関する相談や介護負担による虐待ケースの相談が増え</li> </ul>
------------------------	--

<p>城東地区 (長洞)</p>	<p>た。電話での相談を中心に行ったが、困難ケースに対しては、個別訪問を実施し、認知症の方には、初期集中支援チームへの相談や成年後見制度や日常生活自立支援事業利用の促しや関係機関との連携を積極的に図った。虐待ケースに関しては、終結してないケースもあるが、定期的に訪問や見守り支援を現在も継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方の支援について</li> </ul> <p>認知症サポーター養成講座を少人数で、開催した。また、チームオレンジ立ち上げについては、犬山北地区、犬山市役所高齢者支援課と協働し、立ち上げの活動を現在も継続している。認知症カフェについては、既存のカフェの活動が中止となり、活動することができず、今後の課題と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的・継続的ケアマネジメントについて</li> </ul> <p>ケアマネからの困難事例に対して同行訪問を実施している。また、事例に対しての地域ケア会議の開催についても同様に提案を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携について</li> </ul> <p>愛知県の入退院支援事業のキックオフ会議に参加して、医療機関との連携についても積極的に努めている。また、主治医との連携がなかなかスムーズに行えないケースもあるため、今後の課題と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防関連事業について</li> </ul> <p>体操教室や地域サロンは、南地区の場合、公共施設を会場としている地域が大半を占めていたため、会場が使えない期間の間は、活動中止を余儀なくされた。活動休止中は、あんしんだよりを作成し、年4回、回覧版やポスティングなどの配布を行い、フレイル予防の啓発活動を積極的に行った。また、サロンや体操教室が開催できた時期には、体力測定や管理栄養士による健康講話や健康相談を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して</li> </ul> <p>センターの活動を通じて、今後の課題として、認知症の方や不活動により機能低下が心配される方の相談が増え、事業対象者、介護保険を申請し、要支援認定を受ける方の割合が増えてきた。また、マネジメント件数が増えたことで、マネジメントするという業務の方が負担になり、地域活動への影響が懸念されることを心配している。</p> <p>今後も積極的に地域との関わり合いを持ちながら、地域の実態把握や介護予防に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えている。経験年数の浅い職員が多いため、今後、ケース検討や研修に積極的に参加することで、スキルアップを図っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制について</li> </ul> <p>特に人員配置は、産休中の保健師の休みが1年延びたことと、9月に生活支援コーディネーターが退職し、2名の欠員が生まれて、11月には生活支援コーディネーターの採用があったものの、3名体制の業務となり、1年を通して人員不足となった。</p>
----------------------	---



・総合相談について

新規件数が去年より増えており、誰もが対応できるように、そして必要な支援につなげられるように情報共有を行って、取り組んできた。高齢者世帯訪問では、コロナ禍とあと人員不足によって計画通りの訪問ができなかったが、2年前に行った実態把握をもとに、要リスク者を抽出して訪問を行った。

・権利擁護業務について

高齢者虐待については、件数は少なかったが、数年前からたびたび虐待としてあがってくる方で、同居の精神疾患がある長男からの精神的・経済的虐待がある方だが、分離に向けての分離先の確保や分離のタイミングなどの調整を行って、無事に分離することができた。また、市と協力して、成年後見制度の手続きを行い、補助人を付けることができた。消費者被害防止の啓発については、地域の体操教室やコミュニティで啓発活動を行ってきた。

・認知症支援について

例年城東中学校で行っている認知症サポーター養成講座が令和3年度も中止となった。城東コミュニティで毎年行う講座は、感染対策を行いながら54名の参加者で開催することができた。

・包括的・継続的ケアマネジメントについて

令和3年度は委託件数を増やし、委託をして受けてもらったが、センターでも、継続者から新たな相談が増えまして、コロナ禍で下肢筋力や認知機能の低下が起こったという相談が多かったように思う。介護支援専門員とも連携を始め、医療機関などを必要時に情報共有を行い、比較的スムーズに連携が取れたと感じている。

・介護予防等関連事業について

コロナで中止していた教室が再開をしたので、適宜訪問して様子を観察させてもらったのと、個別の相談などを行った。また健康推進課と共同して、2か所の体操教室で体力測定を開催した。体力チェックを行って、必要な方にはチェックリストで相談に応じて対応した。

・生活支援体制整備事業について

コロナ禍が落ち着いてきたところを見計らって、協議体を毎月開催し。また地域に根づいた移動販売の主催者が事業を退くとこのことで、後任者や新たな業者を探すなど、住民の意向を踏まえて、主催者が交代しても継続ができるような支援を行ってきた。

地域ケア会議は、ケアマネからの依頼で2件行った。独居の認知症高齢者及び8050問題である長男と同居の生活保護世帯の相談に関する情報共有や今後の方向性などを話し合った。

・総評として

人員不足が前面に出てしまった年であった。コロナ禍で自粛していた令和2年度から比べると、徐々に活動を再開するなどの幅も広がってきたため、体操教室への訪問や体力測定などの力を入れてきた。住民の方たちも、健康であることの意識の向上が図れたと思う。令和3年度後半からは人員不足も

<p>羽黒・池野地区（細川）</p>	<p>解消されているため、昨年できなかった世帯訪問や地域活動または認知症カフェに今後は力を入れていきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制について 経験が豊富な職員の配置を継続することで、資質の維持・向上ができてい る。10月より2月まで社会福祉士が欠員となったが、職員が研修や勉強会 を重ね、滞りなく職務を遂行している。毎朝のミーティングで各職種の情報 共有をしている。</li> <li>・総合相談業務について 全職員が経過を確認できるように、情報共有の徹底ができてい る。相談の内容により、適した職種の対応に努めるようにしている。世帯訪問におい ては、民生委員の訪問で気になるケースや住民からの情報提供に対しては、即 座に対応するようにし、訪問した結果については、報告している。</li> <li>・権利擁護業務について 研修や事例検討などを通して、幅広く対応できるように、関係機関との情報 共有ができてい る。虐待通報を受けたときには、即座に対応し、虐待者要援 護者への支援を行っている。安全確保のために分離をしたケースが1件あ った。消費者被害については、地域のサロン活動などに出向き、チラシなど を配布し、実際に市内で起きた事例にも触れながら啓発活動を行っている。</li> <li>・認知症高齢者の支援について 認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を2回開催し、そ の結果、チームオレンジを立ち上げることができた。このチームオレンジの 主力メンバーは男性介護者の3名で、認知症カフェは羽黒・池野の頭文字 をとってはぐいけカフェと名前をつけ、2か月に1回定期開催をしている。 介護者の悩みや苦しみを傾聴し、共感しながら支援を行っている。また同じ 境遇の介護者同士の話し合い場が持てるように工夫をしている。羽黒エリ ア近隣の企業、ナフコ、カーマ、クスリのアオキ、Vドラッグ、名古屋銀行、 いちい信用金庫等に出向き、認知症高齢者に対するネットワークを構築し た。</li> <li>・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について 関係機関との連携が円滑にできている。</li> <li>・介護支援専門員への個別支援について 困難ケースに対する同行訪問を行い、地域ケア会議や個別ケア会議を開催 した。その中で、地域の社会資源の提供を行っている。また逆に地域にない 新しい社会資源の発掘へと結びつける課題も出てきている。</li> <li>・医療機関の連携について 連携が円滑にできており、入退院支援等をスムーズに行っている。</li> <li>・介護予防普及啓発事業について 地域に出向き、顔の見える関係性づくりが継続できている。羽黒コミュニ ティと合同で羽黒コミだよりを発行し、消費者被害、コロナ禍の過ごし方、熱</li> </ul>
--------------------	--

<p>楽田地区 (舟橋)</p>	<p>中症対策、フレイル予防、ヒートテック等の内容を掲載した。また、高齢者あんしん相談センター独自で、羽黒・池野地区みんなの安心便りを発行し、全戸配布し啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防活動支援について</li> </ul> <p>クロリティのサロンの立ち上げ支援を行い、令和3年度は赤坂安戸地区で立ち上げができた。普段なかなか住民間のつながりが希薄であった地域だが、15名ほどが毎週参加し、90歳の方も「ここに来るだけでお話ができるし、皆さんの顔が見えてうれしい」と毎回参加している。要介護認定を受けている方の参加もあり、地域の活性化や見守り活動に繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の開催、関係機関とのネットワークについて</li> </ul> <p>介護支援専門員への声かけなどによる周知活動を継続して行い、困難ケースにおいても、専門機関と相談を行いながら、積極的にアプローチができています。協議体を中心に地域課題を共有し、できることを探しているが、新しい社会資源の創出は課題となっている。民生委員など、個々との関係は強く、ネットワークを強化するために、積極的に働きかけている。</p> <p>2月から池野地区で、県の移動支援モデル事業として、ヨシヅヤまでの買い物移送サービスの実証実験が行われた。犬山市社会福祉協議会の協力で、生きがいサロンの送迎車の空車時間を利用して行われた。池野地区は42世帯で、市の中心部から離れ、交通機関や店舗が充実していない地域で、ほぼ独居や高齢者世帯のみの世帯である。毎回、3名～7名の利用があった。過疎化で高齢化率が高いこの地域では、今後必要な支援と感じている。この事業が次年度以降につなげられるように願っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制の人員について</li> </ul> <p>保健師が10か月欠員だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談支援業務について</li> </ul> <p>総合相談の延べ件数は、例年と同じ程度の人数だった。毎朝業務の予定を確認し、夕方はその経過報告等を行うことと、週1回のミーティングは実施しているが、楽田地区においては、包括経験の長い職員が多く、通常業務であれば、自己判断できることも当然あるため、管理者としては、一部と判断しているが、情報共有ができず、担当者しか詳細がわからないことが多々あったため、そこについては、しっかり情報共有して、心がけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護業務について</li> </ul> <p>高齢者虐待に対する支援については、通報を受けた際には、関係者と面談・聞き取りを行い、対応している。その後、終結したのか、計画を見直す必要があるのかも確認している。消費者被害の防止及び対応については、産業課に講師を依頼し、詐欺などの防犯に対する講義、消費生活センターや犬山警察署からも情報収集を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者の支援について</li> </ul> <p>認知症サポーター養成講座以外に、少人数に限定し、住民の方と認知症座談</p>
----------------------	---

	<p>会という形で参加した。その場合には、市の見守りシール交付事業や認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の周知も行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的・継続的ケアマネジメント業務について</li> </ul> <p>介護保険事業では、新規の数は他地区と比べると少ないが、高齢者本人や家族から相談された場合には、説明や必要に応じて主治医に相談し、必要性があると思われる方については、介護サービスの利用支援をしている。また、介護サービスではできない家具の移動だとか大掃除や単発の家事支援など依頼があった場合については、自費のサービスの紹介もしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防等関連事業について</li> </ul> <p>保健師が欠員で、どうしても弱いところだったため、団地内のボランティアの方を講師として体操教室、健康推進課の歯科衛生士の方に依頼し口腔教室を開催したが、参加者のその後のフォローができていなかったことがあったので、今年度は教室を開催したら、最低限電話連絡や状態確認、その後のフォローをするように計画を立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の開催、関係機関とのネットワークについて</li> </ul> <p>生活支援体制整備事業では、住民同士の繋がりが強い地区は率先して自治会にイベントを打診するなど、活動的に動くことができていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠員があったため、職員さんに市の担当者に相談しながら、何とか1年業務をこなしたという1年だった。</li> </ul>
事務局 (森川)	<p>ありがとうございました。</p> <p>令和3年度犬山市高齢者あんしん相談センターの事業実績報告と自己評価についての報告は以上になります。</p>
杉浦副会長	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>それではただいまの報告につきまして、ご発言がある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>何かございませんでしょうか。</p>
長岩委員	<p>(挙手)</p>
杉浦委員	<p>それでは長岩委員、お願いします。</p>
長岩委員	<p>ご報告ありがとうございました。</p> <p>ちょっとお聞きしたいのが、あくまでも自己評価ではありますが、犬山南地区と城東地区と楽田地区のところの自己評価を見ると、認知症支援のところ、自己評価としては50%前後ってことで、低く評価をされているわけですけども、このあたり、コロナでいろいろやりにくいかいっぱいあるんだと思いますけども、少し、もう少し詳しくご説明いただければと思って、ご本人支援のところなんか、或いは国の新オレンジプランでは、結構家</p>

	<p>族支援のところにも力を入れる必要があるというふうに言われてて、その辺も含めての評価なのか、他と比べるとちょっと此処の自己評価のポイントが少ない感じがしたんですが、何かこう理由みたいのがあれば、ご紹介いただきたい。</p>
<p>楽田地区 (舟橋)</p>	<p>楽田地区ですけれども、認知症高齢者の支援の自己評価チェックリストをやる中で、なかなか本人のミーティングだとか、ピアサポート活動の支援だとか、認知症サポーターを活用した地域支援体制というのが、お話をしたり、できてはいるんですが、具体的に何かできてるとしっかり自信を持ってなかなか言えないところがあったので、ちょっとこういう評価になったんじゃないかなと思います。</p>
<p>城東地区 (長洞)</p>	<p>城東地区です。私どもは個別相談が主で、させていただいたんですが、例年行っている認知症サポーター養成講座がちょっとできなかったのと、あと認知症カフェが立ち上げられなかったのが、今年度の課題だなと思っておりますので、ちょっと評価としては合計がちょっと低くなりました。</p> <p>はい。以上です。</p>
<p>犬山南地区 (糸井川)</p>	<p>南地区です。認知症カフェであったり、家族会の教室の開催がほとんどできておりませんので、そこら辺については、評価ができないというふうに判断して、回答はできてないというふうにさせていただいています。あと認知症の高齢者だったり、地域でのネットワークを作りまして、徘徊高齢者の支援とかっていうところについても、活動につなげればよかったんですけど、サポーター養成講座を行ったというところで、ストップしてしまってる状態なので、今後のそちらの地域との繋がりを持ちながら活動できるようにしていきたいと考えております。以上です。</p>
<p>杉浦副会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他に何かご質問はよろしかったでしょうか。ご質問のある委員の方。</p>
<p>長岩委員</p>	<p>もう1点いいですか。</p>
<p>杉浦副会長</p>	<p>はい。よろしく申し上げます。</p>
<p>長岩委員</p>	<p>もう1点、ご報告の中にもありましたし、収支報告の下にも記載がありますが、昨年度いろんなご事情で欠員が結構目立つ訳ですね。産休中で代わりの方が見つからないとかいろいろご事情はあるんですけど、これ、今は大分改善されているのか、引き続き同じような状態なのか。この辺、ちょっと簡単にご紹介いただければと思っています。</p>

犬山北地区 (渡辺)	<p>犬山北地区です。</p> <p>生活支援コーディネーターの方が、昨年の1月から欠員しておりますが、一時期入った時もあったんですが、また退職されて現在には不在です。</p> <p>その分、主任ケアマネと保健師が代理で、この分の仕事をこなしているという状況です。以上です。</p>
犬山南地区 (糸井川)	<p>犬山南地区は現在、職種に関しての欠員はありません。今までプランナーがおりましたが、11月から異動になりますので、ちょっとそこら辺が後で不便を感じるのかなというふうに感じております。以上です。</p>
城東地区 (長洞)  事務局 (上原課長)	<p>城東地区です。2年前の11月から保健師が産休に入りまして、1年延長して今年の11月までとなっておりますので、今年の11月からはまた復帰をする予定となっております。そして、地域づくりなんですけど、一時去年の8月に退職してから、2か月間不在がありまして、新しく入っております、半年以上経ちましてようやく軌道に乗りまして、また、最近ですね、プランナーが入りましたので、人員としては5名で、今後行っていけると思うので、補充ができております。以上です。</p>
羽黒・池野地区 (細川)	<p>羽黒地区におきましては、社会福祉士が10月から2月まで欠員がありましたが、その間に起きてしまったことに対しては市の協力を得て、市の社会福祉士を持ってらっしゃる方と相談しながら、経験年数が長い職員とその方に関わっている職員が関わりながら、遂行させていただきました。</p> <p>現在に関してはちょっと主任ケアマネがうちの方はちょっと突然の病気で療養中ですので、それに関しては補充はしておりません。以上です。</p>
楽田地区 (舟橋)	<p>楽田地区です。保健師の方は引き続き欠員状態になっておりまして、その部分については、残っている職員と市の方に相談させていただきながら業務を行っている状況です。以上です。</p>
杉浦副会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>他に、何かご質問、よろしかったでしょうか。</p>
杉浦副会長	<p>それでは私の方からちょっと細かいところでございますけれども、犬山北地区の方でちょっと聞き逃したかもしれないんですけども、介護予防等関連事業の中で、口腔機能向上ですよ、口腔機能向上のプログラムの中で、新規件数が2件で、栄養士による健康教室、それからオーラルフレイル12名1回とあるんですが、このオーラルフレイルってのは、すみません、ちょっと聞き逃したのかもしれないんですけども、あの、具体的にどういう、何をやられたんでしょうか。</p>

犬山北地区 (渡辺)	犬山北地区です。オーラルフレイルの方は、資料を歯科衛生士さんからいただきまして、それに基づいて、歯科衛生士さんではなく保健師の方で、ちょっと指導を地域サロンの方に行ったっていう感じです。これ、そんなに大したものではなかったかとは思いますが。
杉浦副会長	資料等で説明っていうか、講話みたいなふうで、開催されたってことですよ。
犬山北地区 (渡辺)	そうです。
杉浦副会長	これ、オーラルフレイルって書いてあると、なんか、何て言うんですかね。オーラルフレイルは低下症の状態そのものだもんですから、ちょっと、具体的に何をされたのかなと思ひましてちょっと質問させていただきました。
犬山北地区 (渡辺)	説明がちょっと足りなかったと思います。申し訳ないです。
杉浦副会長	あとそれとですね、楽田地区さんですが、訪問の件なんですけども、令和3年度の計画が450になってるんですが、実際に訪問されたのが7人ってことなんですけども、令和3年度の450っていう数字がですね、訪問する全体の数なのか、目標の数なのか、その辺のところちょっと、どのようにとらえられているのか、ちょっとお伺いしたいなというふうに思います。
楽田地区 (舟橋)	450件を回る目標に立てまして、実際65歳以上の一人暮らしと75歳以上の高齢者世帯で該当した新規の件数としては7件で、実際訪問した件数は282件しか行けなかったという実績になります。
杉浦副会長	令和3年度に3件、7件、新規としてまわられていて、それ以外に従来からまわってるところが282件あったってことですか。
楽田地区 (舟橋)	はい。
杉浦副会長	そういうことですね、はい、わかりました。
杉浦副会長	他に。
宮島委員	(挙手)

杉浦副会長	はい。よろしくお願いします。
宮島委員	<p>宮島と申します。各地区の報告いただいて、コロナ禍でも本当に皆さん、令和2年度と比べると随分活動広げていらっしゃるなって思いました。</p> <p>私、勉強不足で申し訳ないんですが、認知症の高齢者支援の中で、北地区、南地区、羽黒地区さんがチームオレンジの開設ってということで、結構認知症カフェとチームオレンジの活動をメインっていうか、進めていかれるのかなと思ったんですが、具体的にどんな形でチームオレンジってのが作られているのか、少しその辺がわからないので、もし、簡単に結構ですので、チームってのは地区に1つなのか、各地区それぞれ何か活動しやすいように作っていくのか、何かその辺りが、ごめんなさい、ここで聞くことではないのかもしれませんが、ご説明いただければと思います。</p>
犬山北地区 (渡辺)	<p>犬山北地区です。</p> <p>南地区さんと西コミュニティの方で、私たちが北と南が合併している部分のコミュニティなので、そこで今やっているんですけど、各地区で作ってもいいし、合同でやってもいいっていう、そういう感じのチームオレンジでして、認知症の方を地域でみんなで見守る体制を、地域の方を中心として、支えていくってということで、そのための勉強会を開いたりして、今、11回くらい行っている最中というところで、まだ自主化や誰の役割とか、そこまではたどり着いてないんですけど、私たちのところではそういったちょっと大人数の中のチームオレンジってものを市の方たちの協力を得て行っております。個別でやってる地区もあります。</p>
事務局 (森川)	<p>補足をお願いします。</p> <p>チームオレンジというものが、2025年までに生活圏域に1つチームを作りなさいってことで国から方針が出ていまして、今それに向けて、各地区で活動の方をしていただいています。基本的には認知症サポーター養成講座を受けた後にステップアップ講座という講座をまた受けていただいて、この中で、チーム員として活動してもいいよって方を募ってチームを作るんですけども、活動の形態はいろいろなんです、認知症カフェをやってもいいし、認知症の啓発活動のために、講座をやってもいいし、できるだけ本人さん、認知症の当事者の方と家族の方をチームの中に引き込んで、一緒に活動していくってことをやっていくものになりまして、実施主体は基本その地域の方が中心になってやっていくんですけど、なかなか責任が重いとか、肩の荷が重いというところもありまして、ちょっと包括さんと市のほうと一緒に協力して、今やっと立ち上げようと動き出したところで、まだ本格的な活動をしているところは2か所しかないんですけども、またそれに向けて、設置ができるように頑張っていきたいと思います。以上です。</p>



宮島委員	<p>ありがとうございました。</p>
杉浦副会長	<p>あと、よろしかったですか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
杉浦副会長	<p>それでは続きまして、協議事項(3)令和4年度犬山市高齢者あんしん相談センター事業自己評価チェックリスト(案)について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (森川)	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは資料4の方をご覧ください。</p> <p>令和3年度も自己評価チェックリストとして使っていますが、国や県など方針が変わってきたことを受けまして、チェックリストの項目を少し変えたいと思って、案を作成させていただきました。</p> <p>このチェックリストの項目に関してもかなりたくさんなので、何とか少なくできないかということで考えてはみましたが、緑色がついているところに関しましては、保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金評価指標に関する項目とかぶっておりますので、こちらは入れたいと思っている項目になります。薄い黄色のところに関しましては、地域包括支援センター運営状況調査票に関する項目です。どちらも年に1回、国や県からアンケート調査があり、答えていかなければならない項目になっています。多少表現を変えてるところもあります。白いところに関しては、今まで通りあった項目で、管理者とも検討して答えにくい項目を外すなどして案を作らせていただきました。</p> <p>評価に関しましても、先ほど長岩委員からもご意見がありましたが、評価の仕方もできるだけ統一できるように考えていきたいと思っています。令和3年度分も一度評価を出してもらった後、管理者ともう一度評価の仕方を確認しながら見直しましたが、自分たちができていないと低く判定してしまうところがありました。実際は本当にすごくできているんですけども、どうしても評価が低くなってしまいますので、そこは統一できるよう答え方を考えていきたいと思っています。今年度から、チェックリストを新たに变えた項目にして使っていきたいと思っておりますので、ご意見やご指導をいただきたいと思っております。</p>
杉浦副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それではただいまの報告につきまして、ご発言がある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>何か質問等ございませんでしょうか。</p>

長岩委員	(挙手)
杉浦副会長	はい、じゃあ、どうぞ。
長岩委員	はい。趣旨はよくわかりました。 これ、ちょっと気になったのはですね、総合相談の中の③の所在不明高齢者の把握ですけど、これは必要な事項なのか、これ結構包括でやるの大変じゃないかなと思ったんですけど、これは必要、どうしても、仕様書とかの関係で必要だという感じ。
事務局 (森川)	マストではないですが、所在がわからない高齢者の方が割といらっしゃいまして、普段の活動の中で見つけていただくということを念頭に置きながら活動していただけたらなっている意味合いも含めて載せています。 市に安否確認の問い合わせがあったときに、包括の情報が大きいところがありまして、情報がある程度あるとお返事がしやすかったり、今後につながりやすいということもあるので載せさせていただきました。実際に包括と協議する中でも、対応が難しいという声が上がっているため、再度検討しながら、どうするかは考えていきたいと思いますが、実際難しいのが現状かと思っています。
長岩委員	ありがとうございます。 でもこれはこれでやらなきゃいけないので、何らかの形で位置づける必要があるんですけど、ちょっと私、記憶がはっきりしないけど、センターの利用者の方々に対する何か、満足度調査みたいなものはまた別にあるんですか。
事務局 (森川)	特には設けてはいませんが、介護保険計画と高齢者保健福祉計画の時に住民に対してアンケートはとらせていただきますが、その中で周知度や相談しやすかったという項目は入れてはあります。ただ包括を利用しているかどうかはわからないので、利用者だけの声ではないのですが、多少拾えるかなというふうに思っています。
長岩委員	割と他市町村でセンターを利用した人たちに対する利用満足度の調査なんか、割とやりだしているもんですから、別に急ぐ必要はないと思うし、ちょっと現場のプレッシャーになるかもしれないけど、なんかそういうのもあっていいのかなと感じがしたのでお尋ねしました。ありがとう。
事務局 (森川)	ここはまた管理者の方と考えていきたいなと思います。 ありがとうございます。

杉浦副会長	はい。ありがとうございます。 その他、何かよろしかったでしょうか。
委員	(質問・意見なし)
杉浦副会長	はい、よろしいですかね。 それでは続きまして次第の3. その他でございますが、何か、ございますでしょうか。行政の方は何か。
事務局	特にないです。
杉浦副会長	それでは以上をもって、本日の協議会を終了させていただきます。 本日は円滑な進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。 それでは事務局の方へお返しいたします。お願いします。
事務局 (上原課長)	それではどうも皆様ありがとうございました。 今回は時間の都合上、すべての皆様からご意見・評価をいただくことが難しかったので、事前に資料と一緒に配付させていただいた「評価とご質問」という用紙がございますので、机の上に置いていただいて、お帰りいただきたいと思っております。事務局の方で取りまとめをさせていただきます。 評価につきましては、各地区の自己評価チェックリストの運営協議会評価欄に記載して、ホームページ上で公開する予定しております。 最後になりますけど、また次回の協議会につきましては、令和5年の2月～3月頃を予定しておりますので、また近くになりましたら、ご案内の方をさせていただきますので、皆さんまたお時間を作っていただいて、ご参加をいただきたきますようお願いいたします。 それでは、本日の運営協議会を終了いたします。 ご多忙の中、ご協議いただきまして誠にありがとうございました。 お気をつけて皆様お帰りください。  (以上)

令和4年11月7日

上記に相違ないことを確認する。

署名

署名